

令和6年度

# 中 教 研

—各部会研究活動の概要と紹介—



京都市立中学校教育研究会

## はじめに

京都市立中学校教育研究会の部会長先生をはじめ、会員の皆さまには、研究会活動の推進にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

また、令和6(2024)年度の研究会活動のまとめとなる「中教研」を編集するにあたり、執筆などにご協力いただきましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

現在の学習指導要領が施行されて4年が過ぎようとしています。育成すべき資質・能力が三つの柱で示され、各教科における観点別学習評価の観点も、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点到整理され、授業や評価の在り方について、各校で試行錯誤をしながらより良いものに近づけようとして取り組んでこられたことと思います。まだまだ悩みながら、手探りしながらというのが本音といったところのような気がしますが、早くも来年度は教科書が新しくなります。単元計画を新たに作成したり、練り直したりすることが必要になりますが、これを機会に、これまでの指導を見直し、改善を図ることも可能なように思えます。教員個々が研鑽を積むとともに、教科会などでの十分な吟味をして、学校として、授業や評価の改善に努めると同時に、教科の枠を越え、京都市全体として、英知を結集して取り組んでいければとも思っております。

本冊子には、各研究部会の活動記録や成果と課題などが掲載されております。つきましては、各校や各研究部会におかれましてご活用いただければ幸甚です。

冊子ではなく、データとして総合教育センターのホームページ内「中教研」のフォルダに保存する形に変更して3年目を迎えます。ペーパーレス化により、紙や経費の無駄を省くのみならず、さらに多くの方に閲覧および活用していただけるものになることを願っております。特に若手教員の方々に中教研の活動を知っていただく機会になればと考えておりますのでご周知いただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

令和7年3月

京都市立中学校教育研究会  
会 長 上 野 政 弘

# 目 次

1. はじめに	1
2. 目 次	2
3. 京都市立中学校教育研究会 会則	3
4. 歴代会長・副会長名一覧表	4
5. 令和6年度 部会長名一覧表	5
6. 令和6年度 本部役員一覧表	6
7. 令和6年度 事業報告	7
8. 各部会の研究活動の概要と紹介	
(1) 国語部会	8
(2) 社会科部会	9
(3) 数学部会	10
(4) 理科部会	11
(5) 音楽部会	12
(6) 美術部会	13
(7) 保健部会	14
(8) 体育部会	15
(9) 技術・家庭科部会	16
(10) 英語部会	17
(11) 道徳部会	18
(12) 特別活動部会	19
(13) 教育相談(カウンセリング)部会	20
(14) 人権教育部会	21
(15) 教務部会	22
(16) 生徒指導部会	23
(17) 進路指導部会	24
(18) 安全教育部会	25
(19) 情報教育部会	26
(20) 図書館教育部会	27
(21) 発達障害教育部会	28
(22) 二部学級部会	30
(23) へき地・小規模校教育部会	31
(24) 吹奏楽部会	32
(25) 新聞教育部会	33
(26) 放送教育部会	34
(27) 演劇部会	35
(28) 食教育部会	37
(29) 総合的な学習の時間部会	38
(30) 研究主任部会	39
(31) 環境教育部会	40
(32) キャリア教育部会	41
(33) LD等支援教育部会	42
9. 第40回京都市中学校総合文化祭プログラム	43・44

# 京都市立中学校教育研究会 会則

- 第1条 本会は、京都市立中学校教育研究会と称し、本部を会長校に置く。
- 第2条 本会は、京都市立中学校、義務教育学校及び総合支援学校教職員で組織する。
- 第3条 本会は、京都市立中学校教育の全般にわたり総合的に調査研究を行い、教育の充実・発展を図ることを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 中学校教育に関する調査研究
  2. 研究会、講演会、研究発表会等の開催
  3. 研究物の刊行
  4. その他、必要な事業
- 第5条 本会は、別表に掲げる部会で構成する。各部会に部会長、副部会長及びその他の役員を置く。
- 第6条 本会に次の役員を置く。
1. 会長 1名 本会を代表し、会務を総括する。
  2. 副会長 若干名 会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
  3. 庶務 若干名 庶務に関する事務をつかさどる。
  4. 会計 1名 会計に関する事務をつかさどる。
  5. 広報 2名 広報に関する事務をつかさどる。
- 第7条 本会の会計を監査するため、会計監査を1名置く。
- 第8条 役員及び会計監査は、毎年京都市立中学校教育研究会研究部会長会において選出し、その任期は1年とする。
- 第9条 本会運営のため、顧問及び常任委員を若干名置くことができる。顧問及び常任委員は、会長が委嘱し任期は役員に準じる。
- 第10条 本会の業務を遂行するため、次の会議を行う。
1. 役員会
  2. 部会長会
- 第11条 本会の経費は、会費、補助金、その他をもってこれに充てる。
- なお、会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 付記；本会則は、昭和41年 4月 1日より実施する。  
本会則は、平成13年11月20日一部追加する。  
本会則は、平成14年 7月15日一部追加する。  
本会則は、平成17年 2月15日一部修正する。  
本会則は、平成19年 6月19日一部修正する。  
本会則は、平成30年 6月19日一部追加する。  
本会則は、令和 6年 6月18日一部修正する。

# 歴代会長・副会長名一覧表

京都市立中学校教育研究会

年度	会 長	副 会 長	
昭和41年度	西田重雄	松木昇	
42	今北初太郎	佐々木博隆	
43	佐々木博隆	前野小一郎	
44	佐々木博隆	前野小一郎	
45	佐々木博隆	鶴木賢一	
46	鶴木賢一	山崎外次	中沢良三
47	鶴木賢一	山崎外次	中沢良三
48	田中喜代三	山本新一	富永二郎
49	田中喜代三	山本新一	富永二郎
50	河原茂美	福井要	橋爪清
51	中辻澤蔵	荒木光雄	垣内雪夫
52	中辻澤蔵	垣内雪夫	池田繁三
53	中辻澤蔵	垣内雪夫	松永義男
54	松永義男	垣内雪夫	寺澤寛祐
55	寺澤寛祐	垣内雪夫	矢倉達夫
56	吉岡基茂	田中始英	岩井辰一
57	吉岡基茂	田中始英	堤利光
58	吉岡基茂	堤利光	桐山又男
59	北条直樹	桐山又男	忝田昌弘
60	北条直樹	忝田昌弘	堤利光
61	忝田昌弘	堤利光	吉岡克己
62	堤利光	辻禮三	山崎徹
63	藤井健一	辻禮三	木原久男
平成元	荒井修治	岡野稔	山上智男
2	森茂樹	山上智男	吉田敏彦
3	森茂樹	山上智男	吉田敏彦
4	荻野祐二	平岡五男	今西一浩
5	荻野祐二	平岡五男	今西一浩
6	今西一浩	平岡五男	橋本芳継
7	橋本芳継	山崎嘉久	大橋宝成
8	橋本芳継	山崎嘉久	大橋宝成
9	橋本芳継	村田泓	大橋宝成
10	村田泓	大橋宝成	上田靖男
11	村田泓	大橋宝成	増田秀嗣
12	増田秀嗣	清水勲	山本宏之
13	増田秀嗣	清水勲	山本宏之
14	山本宏之	清水勲	藤野適宏
15	山本宏之	藤野適宏	松村英雄
16	藤野適宏	松村英雄	西村恵美
17	壁谷洋一	西村恵美 梅村正男	細谷僚一
18	壁谷洋一	梅村正男 細谷僚一	奥谷功
19	細谷僚一	河口芳嗣 井手賀世子	中田雄二
20	細谷僚一	畑中義伸 浦一夫	中田雄二
21	中田雄二	畑中義伸 浦一夫	廣瀬忠愛
22	荒木馨一	畑中義伸 寺嶋丈雄	細辻吉弘
23	荒木馨一	宮本信二 足立徹	安田和彦
24	柴本三紀夫	塩谷道次 小野尚志	西垣和彦
25	柴本三紀夫	武田有子 小野尚志	西垣和彦
26	柴本三紀夫	武田有子 小野尚志	西垣和彦
27	武田有子	太田和男 土田浩	藤井秀治
28	武田有子	久保薫 小滝俊則	蒲田悟
29	久保薫	吉井朗夫 小滝俊則	蒲田悟
30	久保薫	上山義宏 小滝俊則	蒲田悟
令和元	堀田和宏	上山義宏 小滝俊則	今津敏一
2	堀田和宏	今津敏一 高垣明夫	山下道夫
3	高垣明夫	今津敏一 東郷伸也	山下道夫
4	今津敏一	石田博之 東郷伸也	土岐文行
5	今津敏一	石田博之 東郷伸也	土岐文行
6	上野政弘	立垣典子 森茂昭	土岐文行

# 令和6年度 京都市立中学校教育研究会部会長名一覽

京都市立中学校教育研究会

番号	研究団体名	部会長	所属校
1	京都市立中学校教育研究会国語部会	立垣 典子	北野中
2	京都市立中学校教育研究会社会科部会	森 茂昭	下京中
3	京都市立中学校教育研究会数学部会	野村 昌孝	開晴小中
4	京都市立中学校教育研究会理科部会	井上 俊幸	桃山中
5	京都市立中学校教育研究会音楽部会	山口 基之	京都御池中
6	京都市立中学校教育研究会美術部会	新谷 幸三	桃陵中
7	京都市立中学校教育研究会保健部会	小林 鉄男	洛西中
8	京都市立中学校教育研究会体育部会	高田 幸信	中京中
9	京都市立中学校教育研究会技術・家庭科部会	土岐 文行	櫻原中
10	京都市立中学校教育研究会英語部会	上野 政弘	高野中
11	京都市立中学校教育研究会道徳部会	西岡 繁穂	朱雀中
12	京都市立中学校教育研究会特別活動部会	藤井 泉	西ノ京中
13	京都市立中学校教育研究会教育相談(カウンセリング)部会	芦田 美香	洛風中
14	京都市立中学校教育研究会人権教育部会	川島 浩明	九条中
15	京都市立中学校教育研究会教務部会	林 秀雄	七条中
16	京都市立中学校教育研究会生徒指導部会	川上 貴由	大淀中
17	京都市立中学校教育研究会進路指導部会	井上 俊幸	桃山中
18	京都市立中学校教育研究会安全教育部会	勝原 雅美	蜂ヶ岡中
19	京都市立中学校教育研究会情報教育部会	今枝 潤之輔	久世中
20	京都市立中学校教育研究会図書館教育部会	瀧本 祐一郎	大原小中
21	京都市立中学校教育研究会発達障害教育部会	小田 浩之	洛北中
22	京都市立中学校教育研究会二部学級部会	間野 郁夫	洛友中
23	京都市立中学校教育研究会へき地・小規模校教育部会	明田 圭子	宕陰小中
24	京都市立中学校教育研究会吹奏楽部会	山口 基之	京都御池中
25	京都市立中学校教育研究会新聞教育部会	山崎 直人	嵯峨中
26	京都市立中学校教育研究会放送教育部会	岩佐 峰之	西京高校附属中
27	京都市立中学校教育研究会演劇部会	野村 一眞	松原中
28	京都市立中学校教育研究会食教育部会	谷川 玲子	旭丘中
29	京都市立中学校教育研究会総合的な学習の時間部会	森下 治樹	加茂川中
30	京都市立中学校教育研究会研究主任部会	野村 昌孝	開晴小中
31	京都市立中学校教育研究会環境教育部会	井上 俊幸	桃山中
32	京都市立中学校教育研究会キャリア教育部会	上畑 直久	西賀茂中
33	京都市立中学校教育研究会LD等支援教育部会	石田 裕之	栗陵中

## 【本部役員】

役 職	名 前	メ-ル	学 校 名
会 長	上野 政弘	⑥	高 野 中学校
副会長	立垣 典子	③	北 野 中学校
	森 茂昭	①	下 京 中学校
	土岐 文行	⑤	檜 原 中学校
庶 務	芦田 美香	⑦	洛 風 中学校
	藤井 泉	③	西ノ京 中学校
	山口 基之	⑦	京都御池 中学校
	山崎 直人	③	嵯 峨 中学校
会 計	石田 裕之	④	栗 陵 中学校
広 報	野村 一眞	①	松 原 中学校
	高田 幸信	①	中 京 中学校
会計監査	上畑 直久	③	西 賀 茂 中学校
顧 問	校長会役員から		
《事務局》	京都市立高野中学校	電話 075-781-8134 FAX 075-781-8135	

京 都 市 教 育 委 員 会

【指導部 学校指導課】

統括首席指導主事	石井 大記
中学校教育係長	小出奈々子
中教研担当首席指導主事	山田 敦
中総文担当首席指導主事	三科 俊一
中総文担当係員	森廣 晋太郎

【京都市総合教育センター】

中教研担当首席指導主事	田中 圭
中総文担当指導主事	木下 藤栄

令和6年度

# 中教研事業報告

京都市立中学校教育研究会

- ▼ 5月20日(月) ○第1回中教研役員会(書面開催)
- ▼ 6月18日(火) ○中教研部会長会(総会)
  - \*令和5年度事業報告・決算報告
  - \*令和6年度会長・本部役員承認
  - \*令和6年度事業計画 他
- ▼ 7月16日(火) ○第1回中学校総合文化祭(中総文)実行委員会(校長総会後 総教Cにて)
  - \*実行委員会部会長会・役員選出
  - \*実施日時・会場確認
- ▼10月・11月 ○第40回京都市中学校総合文化祭

開催日	名 称	担当部会名	会 場
10月26日(土)	生徒理科研究発表会	理科部会	京都市青少年科学センター
11月2日(土)	朗読コンクール	国語部会	京都市総合教育センター
11月2日(土) 11月3日(日)	美術展	美術部会	京都市総合教育センター
	生徒社会科作品展示	社会部会	
	新聞展	新聞教育部会	
	技術・家庭科生徒作品展	技術・家庭科部会	
11月2日(土)	生徒音楽会	音楽部会	京都市立堀川音楽高等学校
11月3日(日)	吹奏楽演奏発表会	吹奏楽部会	京都市総合教育センター
	弁論大会	道徳部会	
	英語学習発表会	英語部会	
11月2日(土) 11月4日(月・祝)	ビブリオバトル	図書館教育部会	11月2日:右京中央図書館 11月4日:醍醐中央図書館
11月16日(土) 11月17日(日)	演劇合同発表会	演劇部会	立命館大学以学館

\*11月2日(土)に予定していた「子ども体験教室(プログラミングでドローンを動かそう)(情報教育部会)」は中止

- ▼12月20日(金) ○ジョイント・学習確認プログラムプロポーザルヒアリング(オンライン)
- ▼ 1月21日(月) ○第2回中学校総合文化祭(中総文)実行委員会(総合教育C)
  - \*今年度の各事業総括及び次年度に向けて
  - \*次年度の実施内容及び日程・会場確認 他
- ▼ 3月17日(月) ○『中教研』冊子(電子化)完成・発信
- ▼ 随 時 ○学習確認プログラム委員会(1年・2年・3年)運営



# 国語部会

通称：ちゅうこっけん

事務局：京都市立中学校

会員数：約270人

## 《研究テーマ》

- ① 育成する資質・能力に結び付く言語活動の設定、単元構想
- ② 主体的な学びを実現する指導

## 《役員・組織》

部会長 立垣典子（北野）

副部会長 今西邦浩（近衛） 岩佐武司（凌風） 岩田智典（東山泉） 小野高志（下鴨）

瀧本祐一郎（大原） 林 秀雄（七条） 森本康裕（藤森） 河邊利夫（衣笠）

宇野宏文（大原野） 芦田美香（洛風） 森田紀子（松尾） 東谷祐子（西京高附属）

本部 総務 研究部チーフ 新庄泰子（小栗栖） 事業部チーフ 梶原寿彦（洛北）

庶務 矢倉裕也（西京高附属） 会計 柴田貴子（西京高附属）

研究部学年チーム 1年担当6人 2年担当7人 3年担当9人

各事業チーム 若手学習会（チーフ 山中亮典（九条））



夏季研修会（研究部チーフ）

朗読コンクール（チーフ 神農政晃（桂））

風物詩コンクール（チーフ 梶原寿彦（洛北））

幼小中高書写作品展（チーフ 池内理美（京都京北））

書き初め展（チーフ 北川晴香（二条））

学習確認プログラム（10人）

## 《年間の事業》

総会 5月14日（火） 総合教育センターにて

幹事会 5月1日（水）、6月18日（木）

9月5日（木）、11月26日（火）

若手学習会等の研修会 9月5日（木）、11月26日（火）

夏季研修会 8月5日（月）総合教育センターにて、及び配信

学習確認プログラム問題検討会 5～8月

幼小中高作品展 9月25日（水）～9月29日（日）京都市美術館別館にて

第36回朗読コンクール 11月2日（土）総合教育センターにて

第61回風物詩コンクール 10月中旬～募集 10月26日（土）審査会 北野中学校にて

政令指定都市国語教育研究会 11月21日（木）・11月22日（金）福岡大会

第93回 書き初め展 1月18日（土）、20日（月）総合教育センターにて

研究紀要発行 3月（予定）

研究企画 通年 研究部メンバーによる研鑽・協議

## 《今後の課題》

◇研究会活動の質の充実

授業改善へ向けてどのように研究会活動を進めていくか。学習会の頻度と質の確保。

研究会主催事業をどのように進めていくか。

# 【社会科部会】



通 称：中社研（ちゅうしゃけん） 事務局：京都市立嵯峨中学校 会員数：249名

## 1. 組織・役員

会 長	森 茂昭（下 京）	顧 問	小西 信行（旭 丘） 柴崎 恭江（京都御池） 国本 龍一（洛 南） 今河 慶昭（久 世） 中田 琢也（開 晴） 福田 博天（東山泉） 三間 英孝（洛 北） 芳山 知也（勸 修） 藤川 佳久（四 条） 杉本 千恵（双ヶ丘） 児玉 貢士（洛 西） 松島 功一（伏 見） 穂積 悠（桃 陵） 乙幡 良治（向島秀蓮）
副 会 長	石田 裕之（栗 陵） 山崎 直人（嵯 峨） 上畑 直久（西賀茂） 間野 郁夫（洛 友） 小泉 茂雄（修学院） 窪田 隆浩（西 院） 川谷内晃治（大 枝） 藤谷 徹（醍 醐） 杉本 貴信（洛 水） 小河 伸（伏 見） 清水 亮（烏 丸）	幹事長	亀井 隆次（栗 陵）
		副幹事長	藤本 裕之（下 京） 吉岡 健志（双ヶ丘）
◆研究部	・分野別研究（地理・歴史・公民） ・スタンダード活用促進チーム ・学習確認プログラム		
◆事業部	・政治的教養を育む教育 ・ICT活用教育 ・北方領土に関する教育 ・中学校総合文化祭 ・社会科教員交流会		
◆庶務部			
◆近畿中学校社会科教育研究大会 京都市大会実行委員会	・事務局 ・総務部 ・運営部 ・研究部（地理・歴史・公民）		

## 2. 研究テーマ 「社会科で育てる未来の創り手」 ～ 学び問い続ける姿をめざして ～

## 3. 活動の記録

- (1) 総会 令和6年5月22日（水） ・令和5年度事業報告と決算報告 ・令和6年度事業計画と予算（案）  
・近畿中学校社会科教育研究大会京都市大会に向けて ・その他
- (2) 社会科教員指導力向上講座① 令和6年6月11日（火） 単元のまとまりを見通した授業づくり  
実践発表とグループ別協議
- (3) 夏季研修会 令和6年7月25日（木）教科指導力の向上を目指した講義・ワークショップ 京都教育大  
主権者を育む教育の実現に向けて ～授業づくりと問いのデザインを考える～  
令和6年7月26日（金） 主体的な学びを生み出す社会科の授業づくりを目指して  
主体的な学びを生み出す各分野の単元構想と授業づくり ～実践に向けた取組と協議～  
※社会科教員指導力向上講座②③を兼ねる
- (4) 実地研修 令和6年8月20日（火） 京都国立博物館（小学校社会科教育研究会との共催）  
特集展示「密教図像の美」講演・見学 ～文化財を通じた体験的な学びに向けて～  
※社会科教員指導力向上講座④を兼ねる
- (5) 京都市中学校生徒社会科研究発表会 令和6年11月2日（土）3日（日） 京都市総合教育センター  
展示発表の部 18校 309点の作品を展示
- (6) 全国中学校社会科教育研究大会北海道大会 令和6年11月7日（木）・8日（金）  
ライトフォート札幌（北海道札幌市）で開催
- (7) 近畿中学校社会科教育研究大会京都市大会 令和6年11月15日（金） 京都市総合教育センター  
公開授業・基調提案・分科会・記念講演・全体会を開催
- (8) 社会科教員指導力向上講座⑤ 令和7年1月21日（金）（小総）授業実践力向上講座③ 合同実施  
小学校と中学校の学習をつなぐ社会科をデザインする  
～義務教育最終学年の学習活動を見通して～ 実践発表グループ協議
- (9) 近畿中学校社会科教員交流会 令和7年2月1日（土）大阪府教育会館
- (10) 社会科教員交流会 令和6年7月～令和7年3月まで（隔月第一金曜日開催）4回開催
- (11) 近畿中学校社会科教育研究大会 京都市大会実行委員会  
幹事会・各部会・分野長会・地理的分野会・歴史的分野会・公民的分野会等を継続的に開催

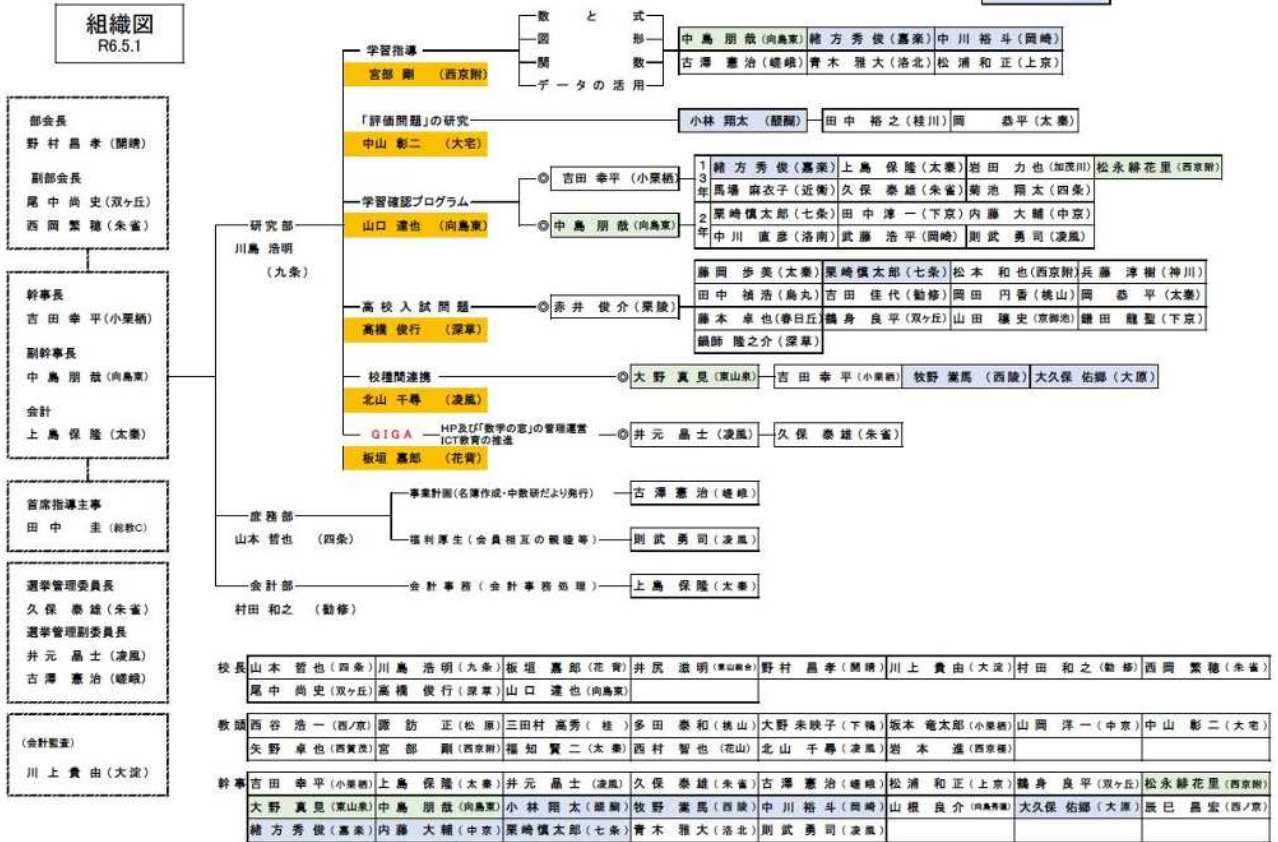
## 4. 今後の課題

- (1) 今年度、第30回近畿中学校社会科教育研究大会（京都市大会）を開催し、前回の全国中学校社会科教育研究大会（京都市大会）の成果を礎に、コロナ明けからこれまで積み重ねてきた単元構想や授業デザインの研究の成果と課題を発表することができた。指導助言者からの助言、参加者からの意見などをもとに、さらに研究を推進していくこと、各校の授業実践や授業改善につなげていくことが課題である。
- (2) 研究会の中核となる先生の世代交代が進み、これからを担う若年教員の育成が大きな課題となっている。

# 【数学部会】

令和6年度 京都市立中学校教育研究会 数学部会

シニアマイスター( )  
マイスター( )



(1) 組織・役員

(2) 研究テーマ：資質・能力の育成を目指した授業改善

～ICTの活用をはじめとした様々な数学的活動を通して～

(3) 活動の記録

- ・ 幹事会…毎月第3火曜日
- ・ 全国算数数学教育研究大阪大会にて実践発表 (8月2日) 大阪ビジネスフロンティア高校
- ・ 入試問題研究
- ・ 支部授業研修会への指導案(基準案)の提供
- ・ 数学科指導力向上講座での実践発表
- ・ 学習確認プログラム問題作成

(4) 今後の課題

- ・ 資質・能力の育成を目指した授業改善についての検討と授業案の提案
- ・ タブレット等のICT機器を活用した授業実践と効果の検証
- ・ プロジェクトフォルダ「数学の窓」の更なる充実
- ・ よりよい研究会活動に向けた組織の改編と新たな人材の発掘
- ・ R7 近畿算数数学教育研究和歌山大会での実践報告に向けた準備
- ・ 思考力判断力表現力を見取る評価問題の作成と分析
- ・ 小中一貫教育に向けたカリキュラムの研究と小中連携

# 【理科部会】

通称：中理研(ちゅうりけん)

会員数：300名 事務局：桃山中学校内

## 【1】組織・役員

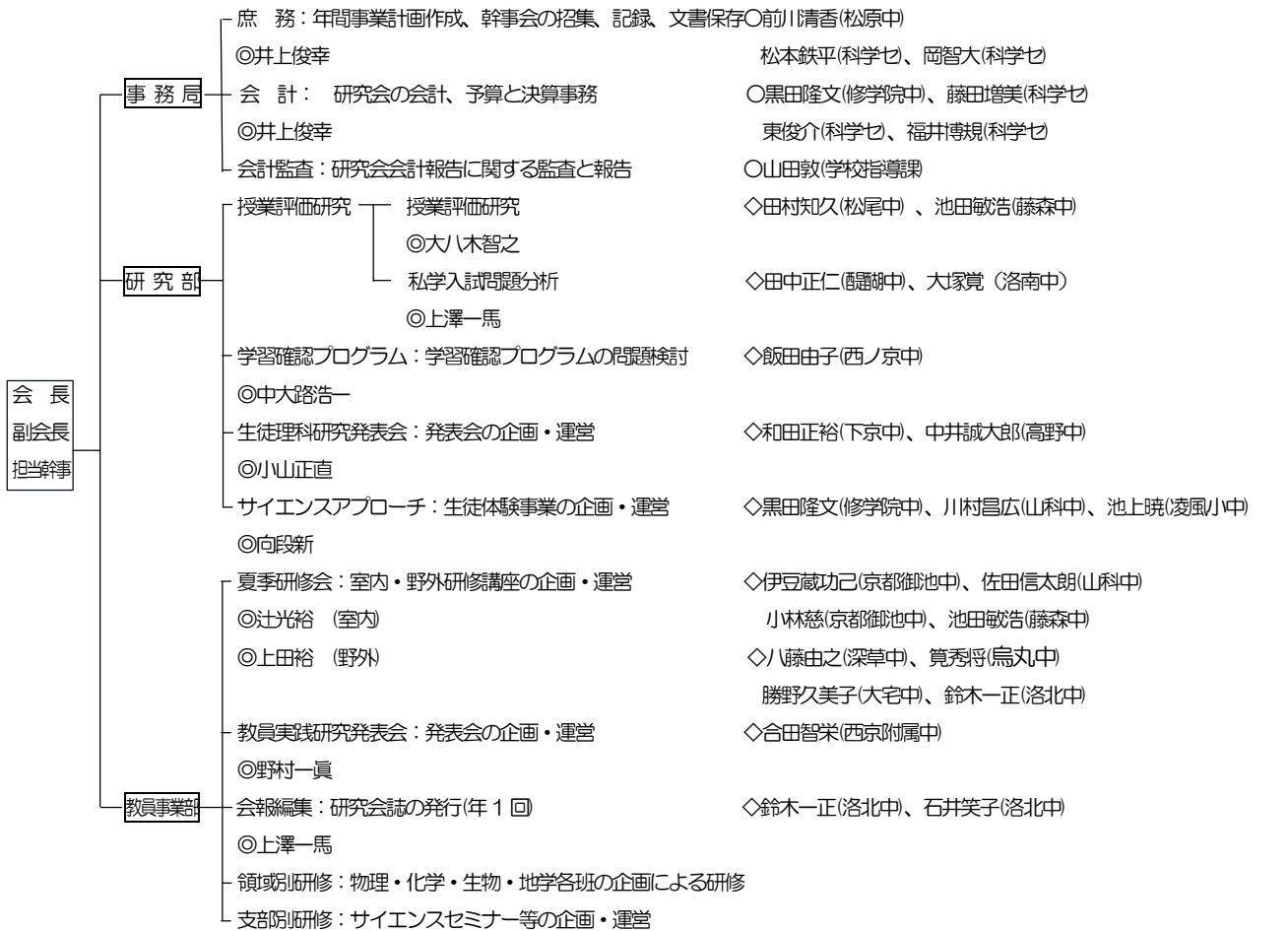
会長：井上俊幸(桃山中校長)

副会長：野村一真(松原中校長)、小山正直(上京中校長)、大ノ木智之(太秦中校長)、向段新(西陵中校長)  
中大路浩一(二条中教頭)、上澤一馬(深草中教頭)、上田裕(桂川中教頭)、辻光裕(蜂ヶ岡中教頭)

事務局：前川清香(松原中)、岡智大(科学セ)、松本鉄平(科学セ)、黒田隆文(修学院中)  
東俊介(科学セ)、福井博規(科学セ)、藤田増美(科学セ)

参 与：中村一郎(白河総合支援学校校長)、三科俊一(学校指導課)、山田敦(学校指導課)  
湯浅康次(花背山の家)、三田村結香(総教C)

《 組 織 図 》 ◎役員 ○事務局 ◇担当幹事



全国中学校理科研究会・近畿中学校理科研究会担当：井上俊幸・和田正裕(下京中) ・ホームページ担当：井上俊幸・和田正裕(下京中)

## 【2】研究テーマ「理科の見方・考え方を働かせて資質や能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」

## 【3】主な活動の記録

- 5/17 総会
  - 7/26 夏季研修講座(屋外：淡路島)
  - 8/5 夏季研修講座(室内：科学を楽しみましょう24)、第49回教員実践研究発表会
  - 8/8~10 第71回全中理 山梨大会 ※学習指導・評価分科会において藤森中・池田教諭が実践発表
  - 10/26 第40回中総文「第75回 生徒理科研究発表会」(科学センター)
  - 11/9 サイエンスアプローチ「科学の祭典でサイエンスショー」(科学センター)
  - 12/7 第13回近中理 大阪大会
- 若手道場「理科指導力向上講座」、プロジェクト研究「科学的探究につながる実験教材の開発」、会報の制作

## 【4】今後の課題 会報の発行について、データ配信に移行

サイエンスセミナー(各支部ごとに開催)の活性化





通称：ちゅうおんけん

令和6年度 事務局：京都御池中学校

会員数：125人

## 1. 役員および組織

会長	山口 基之 (京都御池中学校校長)	副会長	軸丸 総士 (北野中学校教頭)
副会長	柿谷 隆子 (洛北中学校副校長)	副会長	水谷 佳代 (東山泉小中学校)
副会長	水上 瑞穂 (大枝中学校教頭)	副委員長	森田 幹代 (凌風小中学校)
委員長	石川栄里子 (西京極中学校)	副部長	黒田 美華 (向島東中学校)
研究部長	齋藤ゆかり (嵯峨中学校)	副部長	濱崎 洋平 (朱雀中学校)
実行部長	江口 葉 (修学院中学校)	副部長	川田 栞 (四条中学校)
庶務部長	野口 翠里 (大淀中学校)	副部長	吉岡 春菜 (山科中学校)
会計部長	出野満里奈 (花山中学校)	会計監査	坪川麻里絵 (桃陵・小栗栖中学校)
会計監査	今出絵里佳 (安祥寺中学校)		

- 研究部：第64回近畿音楽教育研究大会京都大会の研究成果の共有  
授業改善（教材やワークシートの研究・合唱指導や指揮の研究・評価研究等）  
授業研究チーム（授業づくり・授業実践・教材開発・評価等）  
ICT活用，調査研究（音楽科テスト等），小中連携，研修
- 実行部：生徒音楽会 オークストラ入門教室 ※教員音楽発表会は中止
- 庶務部：常任委員会報告 文書作成・発送 資料・記録（録画・会誌・HP）
- 会計部：委託費及び中音研の会計事務



## 2. 研究テーマ

「音楽科教育に関する研究・研修・実践及び事業の企画・運営を行い，会員同士の連携を深める」

## 3. 活動の記録

- |                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| (1) 授業研究       | 授業研究チームによる研究授業の実施。若手・中堅実践道場の実施。     |
| (2) 研究授業       | 支部授業研究会にて研究授業の実施。                   |
| (3) 夏季研修講座     | 7月24日（水） 京都堀川音楽高等学校ホール（小・中音研共催）     |
| (4) 生徒音楽会      | 11月2日（土） 京都堀川音楽高等学校ホール（11校12団体出演）   |
| (5) オークストラ入門教室 | 2月4・5日（水） 京都コンサートホール（46校：約3,500人参加） |
| (6) 教員音楽発表会    | 中止                                  |
| (7) 常任委員会      | 研究活動全般に渡り，事業および研修計画・課題の審議。不定期開催。    |
| (8) 定期総会       | 5月22日（水）（総合教育センター）                  |

## 4. 今後の課題

今年度も音楽科の授業は、コロナ禍の際のような制約を受けず、各校で創意工夫のある授業が展開された。小中合同の夏季研修講座には、作曲家の若松歆氏にお越しいただき、自作曲を実際に小・中学生に指導されながら、合唱指導の様々な手法を教えていただき、大変充実した内容となった。

また、11月2日には「第77回京都市中学校生徒音楽会」を実施した。翌日に「吹奏楽演奏発表会」を実施する吹奏楽研究会と連携し、両研究会が感染症対策について綿密に打ち合わせて実施した。

そして伝統音楽に関しても、前回の近音研大会京都大会で熱かった能楽を始め、和楽器を使った授業など継続的に研究活動を行っている。来年度は次期近畿音楽教育研究大会京都大会（令和9年度）を見据えながら、充実した研究活動を進めていきたい。今後も我々音楽科教員は、学習指導要領の趣旨を生かした授業を構築するために授業改善に努め、本研究会はその基盤となる研究会活動をさらに推し進めていく必要がある。

# 【美術部会】

通称:中美研(ちゅうびけん)

## 【1】組織・役員

会長 新谷 幸三(桃陵中学校校長)  
副会長 乾 茂樹(西京極中学校校長) 河内 茂(加茂川中学校教頭)  
太田 美佐和(向島秀蓮小中学校校長)  
幹事長 山本 司(桂中学校)  
副幹事長 湯口みゆき(洛北中学校)  
研究部長 野田 朋子(加茂川中学校)  
事業部長 若狭 愛(西ノ京中学校)  
広報部長 中原 大輔(旭丘中学校)  
庶務・会計 新田 嘉子(勸修中学校) 市川 由子(梅津中学校)  
会計監査 服部 佳代子(下鴨中学校) 軽尾 達治(八条中学校)

## 【2】研究テーマ

### 『生きることの充実 豊かな未来へと導く美術の学び』

- 学校教育全体を視野に入れた美術教育を推進する
- 思考・判断・表現の力につながる、確かなねらいを持つカリキュラムと教材を開発する
- 生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業デザインを探究する
- 生涯にわたり美術を味わい続けるために、京都ならではの連携を図る

## 【3】活動の記録

\*三役会・役員幹事会(ともに隔月1回開催)

◆5/15～19 各部新旧役員会 ◆5/24 総会 ◆8/5 小中連携講座(京都国立近代美術館) ◆8/1 夏季研修講座(京都市立美術工芸高等学校) ◆9/10 授業実践交流会 ◆9/11 授業実践交流会 ◆9/25～9/29 京都市児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展(京都市美術館別館) ◆11/2～11/3 京都市立中学校総合文化祭美術展・京市立中学校美術部展(堀川御池ギャラリー) ◆2/1～2/2 京都府学校文化・芸術教育美術展(京セラ美術館) ◆2/22 近畿図画工作・美術教育研究協議会(実践発表)

## 【4】今後の課題

- ① 学習指導要領の内容を踏まえ、生徒の造形的な視点に基づく資質・能力の向上を目指した授業改善の推進。
- ② 全京都美術教育連合・京都芸術教育コンソーシアムなどのネットワークを活用した校種間連携、美術館・博物館連携、地域の美術文化を取り入れた実践等の研究。
- ③ 4ブロックの支部学習会を核とし、実践交流を行いながら若手中堅教員のOJTによる育成。
- ④ GIGA スクール構想を踏まえたICTの効果的活用を美術科の実践を通しての研究。
- ⑤ 若手教員のみならず、講師を含めた美術科教員の自主研修の立案と実施。

# 【保健部会】

通称：中保研 事務局：洛西中学校 会員：保健体育科教員・養護教員・保健主事

## 〔I〕組織・役員

会長	小林 鉄男 (洛西中校長)
副会長	大北 康史 (洛南中校長) 原 秀樹 (安祥寺中校長)
	坂本 直史 (檜原中教頭) 村上 謙一 (栗陵中教頭)
	中川 朋美 (修学院中養護教諭)
幹事長	木田 伸彦 (桂中)
副幹事長	東田 朗宏 (醍醐中)
庶務	岡見 拓 (高野中) 杉田 昇太 (大原野中)
広報	清水 貴幸 (洛北中) 千田 尚樹 (衣笠中)
研究	石井 恵理子 (修学院中) 中村 貴泰 (安祥寺中) 山口 将司 (京都御池中)
	岩本 英生 (伏見中) 田本 博子 (勧修中) 松比良菜々 (久世中)
	岩崎 淳史 (西京極中) 吉田 律輝 (衣笠中) 藤田 嘉一 (双ヶ丘中)
	川村 直也 (洛北中)
	中村 愛 (東山開晴小中養護教諭) 重森 章子 (二条中養護教諭)

## 1. ねらい

- ・健康に関する知識を身に付け、健康の価値を認識することで、自ら健康に関する課題を見つけ、主体的に考え、判断し、行動し、よりよく課題を解決する方法を考える。
- ・個人生活における健康・安全に関する理解を通して、自らの健康を適切に管理し、生涯を通じて心身の健康の保持増進を図るための資質や能力の育成を図る。
- ・保健教育の基礎を培い実践力向上のために、会員相互の研究活動を推進し指導の充実を図る。

## 2. 研究主題

- ◇学習指導要領に沿った学習指導と評価について
- ◇薬物乱用防止と飲酒・喫煙を中心とした保健指導・保健学習について
- ◇がん教育・医薬品教育の推進について
- ◇保健教育における性に関する指導 (エイズ・性感染症を含む) について

## 3. 研究活動

- (1) 学習指導要領にそった学習指導方法の工夫と改善
  - ◇ICT機器の活用、養護教員とのT.T・連携についての指導法・学習についての研究
  - ◇がん教育・医薬品教育についての指導法・学習についての研究
  - ◇薬物乱用防止と飲酒・喫煙の指導法・学習についての研究
- (2) 評価と評価規準についての研究
- (3) 計画的な研修による活動の活性化 (自主学习会等)
- (4) 指導案集の作成
- (5) 授業で活用できる動画サイトやコンテンツの紹介と共有、授業実践の情報交換と交流

## 4. 活動の記録

- 5月31日 (金) 保健体育研究会総会
- 7月29日 (月) 夏季保健教育研修講座 (総合教育センター)
  - 講義「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について」 横浜薬科大学教授 小出 彰宏
  - 協議・演習「薬物乱用防止教育」について指導案の作成
- 1月31日 (金) 令和6年度 体育・保健体育学習協議会 (東京都)
  - 講義 「現代的な健康課題に対する体育・保健体育学習の推進」
  - スポーツ庁政策課 教科調査官 岩田 悟
  - 実践発表：小学校から高等学校までの「保健」の授業実践及びシンポジウム
- 3月11日 (火) 伝達研修会 講師 洛西中学校校長 小林鉄男

## 5. 今後の課題

保健学習・保健教育における指導と評価についての研究及び授業改善の実践と、保健部会の活性化

## 【体 育 部 会】

通 称 中体研〈ちゅうたいけん〉 事務局 京都市立中京中学校内  
会員：京都市立中学校保健体育科教員

### 〔1〕 組織・役員

《常任幹事》

会 長	高田 幸信（中京）		
副 会 長	森下 治樹(加茂川)	山本 慎吾（山科）	
幹 事 長	山口 将司（京都御池）	研究部長 藤井 豊康（衣笠）	
研究副部長	伊崎 亮介（洛水）	研究副部長 山口 展希（近衛）	
事業部長	竹野 理（四条）	事業副部長 森田 ありさ（衣笠）	
庶務部長	中村 貴泰（安祥寺）	広 報 川勝 直紀（上京）	
法被貸出	福田 優祐（神川）	会 計 阪野 美貴子（洛風）	

《研究部》

森 真代（西ノ京） 清水貴幸（洛北） 畑 秀哉（洛北） 青野 悟（嘉楽）  
濱野真成（桂川） 篠部拓真（加茂川） 杉村崇志（加茂川） 伊藤 賢（伏見）  
古田朋美（二条） 川野裕子（上京） 中澤ちえみ（洛風） 亀井孝昭（山科）  
吉田裕（西ノ京） 井上源太（樫原） 大岡将造（桃陵）  
西 慧精・大賀玲子・平山直樹(附属京都) 丸本眞一郎・三村 彩世(附属桃山)

《庶務部》 中村 貴泰（安祥寺） 川勝 直紀（上京）  
福田 優祐（神川） 阪野 美貴子（洛風）

《事業部》 竹野 理（四条） 森田 ありさ（衣笠）

### 〔2〕 研究テーマ 『球技領域における「わかる（知識）」と「できる（技能）」の関係性と指導方法』

- ・「わかる」＝「できる」ではないことや、その関係性を理解する。
- ・「わかる」：生徒が習得（獲得）している知識や技能を基にした指導方法を研究する。

### 〔3〕 活動の記録

- ① 授業研究 ・「各支部授業研究会」において研究テーマに係る研究協議  
・学びあいの会（柔道）
- ② 研修会 ・ ダンス実技講習会  
・ 柔道実技研修会  
・ 夏季指導者宿泊研修会（実技・理論研修）
- ③ 事業活動 教職員バレーボール ※今年度中止
- ④ 研究会誌「あしあと NO.46」作成

### 〔4〕 今後の課題

- ① 「主体的・対話的で深い学び」についての研究
- ② 小・中一貫教育における、体育授業についての実践事例研究の実践
- ③ 研究会独自の授業研究会を開催



# 技術・家庭科部会

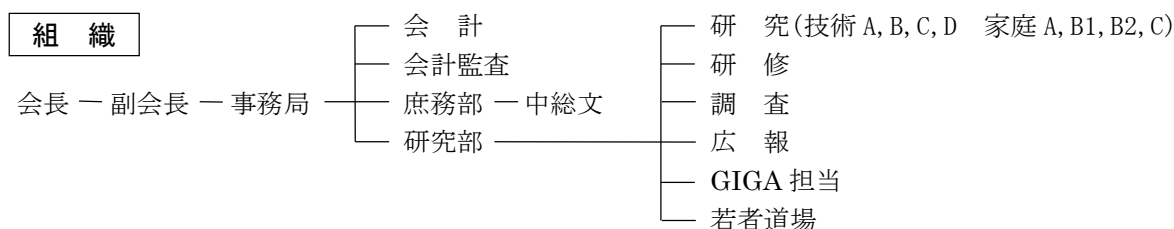
通称：中技家研ちゅうぎかけん

事務局：檜原中学校

会員数：97名

## 1 役員・組織

- ◎ 会長：土岐 文行（檜原中）
- ◎ 副会長：吉川 康浩（桂川中）・今枝潤之輔（久世中）・小滝 俊則（音羽中）  
宮國 雅史（春日丘中）・逆水 由紀（花山中）・浅井 具子（近衛中）  
内海 真奈美（安祥寺中）・田中 省吾（洛水中）・森 英夫（神川中）  
小西 和正（衣笠中）
- ◎ 事務局：事務局長：柳井 拓弥（嵯峨中）・事務局次長：向段亜希子（京都御池中）
- ◎ 中総文：梅村 直子（山科中）・藤原 若葉（栗陵中）
- ◎ 会計：大竹口堯良（檜原中）・榊原 菜月（檜原中）
- ◎ 会計監査：岡田 高芳（上京中・旭丘中）・二木 千裕（洛南中）
- ◎ 研究部：部長… 長井 秀樹（修学院中）・池田 純子（下京中）  
領域長… 技術A：加志崎保貴（蜂ヶ岡中）  
技術B：林 剣志郎（凌風小中・向島東）  
技術C：須原健太郎（伏見中）  
技術D：小室賢太郎（向島秀蓮小中・大淀中）  
家庭A：藤井 豪人（太秦中）  
家庭B1：今川 早紀（桂川中）  
家庭B2：中西 仁美（嵯峨中）  
家庭C：小野 陽介（西京極中）



## 2 研究テーマ

自ら未来を創造する力を育む技術・家庭科教育  
～一人ひとりが主体的に意思決定を行う場の設定を通して～

## 3 活動の記録

- 役員会(5/22、7/5、9/27、10/23、12/18、3/10)
- 全日本中学校技術・家庭科研究会(6/1) ○研究会総会(6/5)
- 夏季研修会 技術分野・家庭分野(7/26・8/1・8/2)⇒技：向島秀蓮小中、  
家：キャンパスプラザ京都・総合教育センター
- 木工チャレンジコンテスト京都市大会(9/23)・全国大会(1/31・2/1)
- 中学校総合文化祭 作品展示(11/2、3 総合教育センター)
- 研究大会参加 近畿大会(11/8 滋賀県) 全日本中学校技術・家庭科研究会(11/14・15 山形県)
- 若手・中堅実践道場(年間5回) ○プロジェクト研究(技術1チーム・家庭1チーム)

## 4 今後の課題

- 教材・教具の開発の研究
- 兼務教員の増加に伴う支部研究授業以外の授業交流や情報交換の場づくり
- 各校の技術・家庭科の施設や設備、予算などの課題についての検証と対策

# 【英語部会】

通称：中英研

事務局：上京中学校

会員数：約370名

## 1 組織・役員

- ◎会長：上野 政弘（高野中）  
◎副会長：松井 剛史（神川中）・菊地 順維（梅津中）・寺西 大輔（二条中）  
藤井 泉（西ノ京中）・山本 力也（小栗栖中）  
◎事務局：梶田 哲也（上京中）  
◎総務：磯崎 隆将（大原野中）・角田 千里（向島東中）・斎藤 由三（七条中）  
前嶋 武志（下京中）・塩見 登（大淀中）・佐津 高司（京都京北中）  
郡山 高司（藤森中）・加藤 葉（岡崎中）  
◎幹事：丸田 信宏（東山泉小中）・金谷 佳明（岡崎中）・福岡 孝一（醍醐中）  
西依 謙（蜂ヶ岡中）・馬淵 朱美（嵯峨中）

活動組織	主な活動内容
研修部	授業研修, 夏季研修など企画運営
生徒活動部	英語学習発表会企画運営
国際交流部	国際交流及び国際理解の推進（ALTと生徒との交流会企画運営）
学習改善部	学習確認プログラムの検討と改善
広報部	「英語教育通信」発行、会誌『中英研・京都』発行
事務局	庶務（活動計画・報告）（文書・名簿管理）、会計（予算・決算）（会費管理）

## 2 研究テーマ

「目的・場面・状況を明確に設定して行う言語活動の充実～実技教科として」  
～できる姿を目標として明示し、「深い学び」を通してその達成を目指す授業の研究～

## 3 活動の記録

- 5/17 総会  
7/24・25 夏季研修講座  
※25日（金）京都外国語大学 杉本 義美 教授による講演・ワークショップ  
8/2 ALTと生徒のオンラインミーティング  
10/31 大都市公立中学校英語教育研究会連絡協議会北九州大会  
近畿公立中学校英語教育研究会連絡協議会兵庫大会  
11/3 英語学習発表会〔会場：京都市総合教育センター〕  
11/15・16 全国英語教育研究団体連絡会総会・研究大会（全英連埼玉大会）  
1/28 京都府英語教育研究会連合会連絡協議会〔会場：京都市立紫野高等学校〕  
3/21 研修部による学習会〔会場：京都市総合教育センター〕  
\* 学習確認プログラム作成協力  
\* 「英語教育通信」発行  
\* 会報誌「中英研 京都」（電子版）発行

## 4 今後の課題

- ・「目的・場面・状況を明確に設定して行う言語活動の充実」に向けた取組実践の交流
- ・思考力・判断力・表現力等の育成に向けた指導改善及び評価に関する調査研究
- ・組織の見直しと活動体制の充実

## 【道徳部会】（通称「中道研」）

◇設立年月日：S34. 7. 15（S41. 4. 1）

◇事務局：朱雀中学校

### 1. 組織・役員

会長 西岡 繁穂（朱雀中校長）  
副会長 藤井 泉（西ノ京中校長） 吉川 康浩（桂川中校長） 川上 貴由（大淀中校長）  
中大路 浩一（二条中教頭） 天谷 千恵（高野中教頭） 上田 裕（桂川中教頭）  
阿部 成晃（嘉楽中教頭） 下川 剛史（東山泉小中教頭） 角田 千里（向島東教頭）  
佐津 高志（京北小中教頭）  
幹事長 辻内 祥吾（岡崎中） 副幹事長 岡田 円香（桃山中）  
広報・HP 辻内 祥吾（岡崎中） 山中 悠生（醍醐中）  
中道研だより 上山 貴子（修学院中） 安丸 耕平（下京中）  
弁論大会 上田 紗和子（開晴小中） 田島 亮（京都御池）  
学習会・研修会 岡田 円香（桃山中） 矢倉 裕也（西京附属）

### 2. 研究テーマ

『よりよい生き方につながる道徳教育を目指して』

### 3. 活動の記録（他に定例企画委員会および勉強会）

5/29	◇総会 「事業・会計報告」「役員選出」「令和6年度研究活動方針」等の提案並びに承認を行う。
7/25	◇道徳教育夏季研修講座 ・方向づけ、まとめ 京都市総合教育センター 指導主事 木下 要子 ・ワークショップ 「深い学びに向かう授業 ～子どもが深く考えられる「問い返しとは～」 京都市立桃山中学校 岡田 円香
8/6	◇第29回京都市道徳教育研究大会 ●実践発表① 「小中9年間を見通した道徳教育の充実」～しなやかな道徳教育～ 京都市立修学院中学校 上山 貴子 京都市立京都御池中学校 小林 慈 ●実践発表② 「文科省指定 道徳教育の抜本的改善・充実に向けた取組」 ～教職員一人ひとりが自分事として参加できる校内研修の在り方～ 京都市立美豆小学校 島崎 紀理 ●講演 「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育」 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 堀田 竜次 氏
11/3	◇第66回京都市中学校弁論大会（京都市総合教育センター） ・発表生徒12名
7月 10月	◇道徳研だよりの発行（夏号，秋号を全市配信）
6月 11月	◇道徳学習会（教材研究ワークショップ） 《企画・運営》桃山中学校 岡田 円香 岡崎中学校 辻内 祥吾
3月頃	◇総会 「道徳研究 VOL. 66」発行予定

### 4. 今後の課題 ①組織の拡充（研究会活動への参加者確保） ②授業改善のための学習会の工夫と充実

③広報活動の充実（道徳だより，ホームページの充実） ④研究活動の推進

## 【特別活動部会】

### (1) 組織・役員

<役員>

会 長 藤井 泉（西ノ京中校長）

副 会 長 川上 貴由（大淀中校長） 宮國 雅史（春日丘中校長） 中大路 浩一（二条中教頭）

松島 功一（伏見中教頭） 筒井 清之（西院中教頭） 角田 千里（向島東中教頭）

加藤 葉（岡崎中教頭）

幹 事 長 田中 淳一（下京中）

総 務 松谷 元嗣（嵯峨中）

常任幹事 森田 純代（山科中） 野間 勇輝（双ヶ丘中） 長谷川 文彦（西京極中）

荒木 道雄（京都御池中） 田島 亮（京都御池中） 古賀 楓子（大宅中）

河北 良美（七条中） 田野 遼（神川中） 永井 麻里（西ノ京中）

会 計 沼田 勉（山科中）

### (2) 研究テーマ

「『自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方及び社会の一員としての自覚を深め、体験活動を通して人間関係を築き、自己を生かす能力を養う特別活動』～学級活動の主体者である生徒の活動を支援する学級経営のあり方や生徒会活動のよりよいあり方について～」

### (3) 主な活動内容

- \* 規範意識と自尊感情、対人関係能力、道徳的価値などを学級の中で身につけるための学級活動のあり方についての研究
- \* キャリア教育の視点に立った適切な進路選択を図るための「生き方探究パスポート」の活用方法の工夫についての研究
- \* ボランティア活動などの社会貢献に関する生徒会活動のあり方についての研究
- \* 型にとらわれないよりよい生徒会活動活性化の方法についての研究
- \* 体験活動を重視し、創意工夫を生かした特色ある学校行事のあり方についての研究
- \* 学習指導要領の目標・内容をふまえた特別活動のあり方と評価についての研究
- \* 夏季研修講座<8月>
- \* 研究会主催の自主研修（年2回）<12月・2月>

### (4) 活動の記録

5月14日（火）第1回常任幹事会（役員委嘱について、総会及び主任会についての協議）

6月 7日（金）特活主任及び本研究会総会

（令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度役員選出・事業計画・予算案）

6月25日（火）第2回常任幹事会（夏季研修講座について）

8月 2日（金）特別活動夏季研修講座

11月15日（金）第3回常任幹事会（第1回「確かな担任力講座」について）

12月 3日（火）第1回「確かな担任力講座」

1月 7日（火）第4回常任幹事会（第2回「確かな担任力講座」について）

2月 4日（火）第2回「確かな担任力講座」

3月 中旬 第5回常任幹事会（本年度の反省と次年度への課題について）

### (5) 今後の課題

- \* キャリア教育についての研究の推進および「生き方探究パスポート」の活用方法についての研究
- \* 学級活動における話し合い活動の充実を図るうえでの手法等の研究の推進
- \* ホームページの内容の充実と活用の工夫
- \* Teamsによる、研究会員間の情報や資料等の共有の更なる充実
- \* 研究会の中心となって活躍できる若手の育成

## 【教育相談（カウンセリング）部会】

通称：中カ研 事務局：洛風中

### 1. 組織・役員（会員数・・・199名）

- (会長) 芦田 美香 (洛風中学校校長)  
(副会長) 今西 邦浩 (近衛中学校校長) 土岐 文行 (檜原中学校校長)  
          菊地 順雄 (梅津中学校校長) 川野 篤彦 (岡崎中学校校長)  
          栗津 亮子 (洛風中学校教頭)  
(幹事長) 宮迫 嘉徳 (神川中)  
(副幹事長) 佐田信太郎 (山科中)  
(庶務) 山瀬 悟 (北総合支援)  
(会計) 坂本 慧介 (神川中)  
(広報) 栗林 洋平 (春日丘中) 岡部 純 (近衛中)

### 2. 研究テーマ・実践目標

- ①研究テーマ 「**中学校教育活動における教育相談(カウンセリング)の効果的な活かし方**」  
サブテーマ 「～子どもや保護者の行動が示す深層に迫るためにカウンセリングに関する専門的な視点を学び、実践力を高める～」
- ②実践目標
- 1 役員の教育相談(カウンセリング)の力量向上と充実を図る
  - 2 「専門的な視点を学べる」研修会や幹事研修会(春・冬)の立案・運営を行う
  - 3 中カ研だよりを通して、中学校現場に教育相談の視点での啓発活動を行う
  - 4 各中学校の教育相談週間向け研修用資料の作成と配信を行う
  - 5 第45回京都学校教育相談研究会の企画・運営を通して、他校種・他団体との連携を深化させる

### 3. 主な活動の記録

- 4月18日(木) 第1回役員会(於：洛風中) 新年度の組織 研究のサブテーマ確認  
総会・研修会の打合せ 研修・事業計画の確認 会員募集・名簿作成 勉強会
- 5月16日(木) 総会・研修会(於：洛風中)  
**演題「不登校の娘が教えてくれたこと」**  
**講師：大曾根好宏氏(元中学校カウンセリング研究会会長・不登校相談支援センター相談部長)**
- 5月30日(木) 第2回役員会(於：洛風中)
- 6月13日(木) 春季幹事研修会(於：洛風中)  
**研修「セルフコンサルテーション体験」**  
**助言：蜂須賀早苗(教育相談総合センターカウンセラー)**
- 8月7日(水) 第45回京都学校教育相談研究会(於：龍谷大学付属平安高校)  
**大会テーマ『多様性を認め合える学校を目指して』**  
**全体会議『ニューロダイバーシティの視点から「合理的配慮」を捉え直す』**  
**講師：村中 直人氏(臨床心理士・公認心理士 一般社団法人子ども・青少年育成支援協会代表理事)**
- 研修会①「かつて発達障害児として感じていたこと・考えていたこと」**  
**講師①：横道 誠氏(京都府立大学文学部欧米言語文化学科准教授)**
- 研修会②「いじめ問題を通して多様性について考える」**  
**講師②：原 清治氏(佛教大学)**
- 10月3日(木) 第3回役員会(於：洛風中) 冬季研修会の打合せ 勉強会
- 10月24日(木) 冬季幹事研修会(於：洛風中)  
**研修「教職員のメンタルヘルスを守るためにできること」**  
**助言 齊藤知江子(教育相談総合センター主任指導主事・カウンセラー)**
- 11月6日(月) 冬季研修会(於：パトナホール カウンセリングセンターとの共催)  
**演題『人に傷ついた子供たちが先生に心を開くまで』**  
**講師 大橋 良枝氏(京都文教大学 臨床心理学部臨床心理学科教授)**
- 1月9日(木) 第4回役員会(於：洛風中) 次年度の取組について 中カ研だよりの発行について 勉強会
- 3月7日(金) 第5回役員会(於：洛風中) 次年度の総会・研修会・取組について 勉強会

## 【 人 権 教 育 部 会 】

通 称：中人研  
事務局：九条中学校

### 【1】組織（役員）

- 〔会 長〕川島浩明（九条中）  
〔副会長〕岩佐武司（凌風小中）、土岐文行（檜原中）、松井剛史（神川中）、小泉茂雄（修学院中）、  
勝原雅美（蜂ヶ岡中）  
〔理 事〕西村府子（洛友中）、塩見 登（大淀中）  
〔庶 務〕加藤寛隆（梅津中）、角丸諤己路（凌風小中）、石田 誠（上京中）、  
松比良 菜々（久世中）、山田健人（附属京都小中）、佐藤高文（九条中）、北田 惇（二条中）  
〔全人同教専門委員〕北村 淳（安祥寺中）、小西将三（藤森中）、林 秀晃（修学院中）  
〔外国人教育専門部長〕李 大佑（向島東中） 〔同和教育専門部長〕林 秀晃（修学院中）  
〔男女平等教育専門部長〕高橋俊行（高野中） 〔総合育成支援教育部長〕弓削雅哉（朱雀中）

### 【2】研究テーマ 『個が輝く人権教育の創造』

～すべての生徒に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～

### 【3】活動の記録

- (1) 5月31日（金） 「中人研総会」 （リモート開催）  
○組織の新体制について、および研究主題・活動の方向性の確認をする。
- (2) 6月以降、随時 洛友中学校二部（夜間）学級見学学習会
- (3) 7月31日（水）「第58回中人研研究集会」 午後 於：京都市立凌風小中学校  
（テーマ）『個が輝く人権教育の創造』  
～すべての生徒に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～  
○方向づけ 作成：林秀晃先生（修学院中学校）および中人研役員  
○実践報告 6校より報告～分散会を行う。
- (4) 8月12日（月）～14日（水）第43全国在日外国人教育研究集会 横浜大会
- (5) 10月8日（火） 「第58京都市人権教育研究集会」（約170名参加） 於：京都市総合教育センター  
（テーマ）『個が輝く人権教育の創造』  
～同和教育の成果を基盤として、すべての児童・生徒にあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～  
○基調報告 報告者：中人研会長 川島浩明（九条中学校）作成：林秀晃先生（修学院中学校）および中人研役員  
○実践提案 「人権の基盤『いのち』をもう一度全校生徒と考える。」 川原佑介先生（洛北中）  
「京都市立七条中学校における人権教育の課題から見える総合的な学習の時間との連携の重要性」  
足立武史先生（七条中）
- (6) 11月30日（土）～12月1日（日） 「第75回全国人権・同和教育研究大会」  
於：熊本県・福岡県・鹿児島県（共同開催）
- (7) 3月1日（土） 「第56回人権交流京都市研究集会」 於：京都テルサ  
○基調提案 山田健人（附属京都小中）、林 秀晃（修学院中）、能山公介（高野中）、川島浩明（九条中）  
○第1分科会 弓削雅哉（朱雀中）、北村 淳（安祥寺中）、勝原雅美（蜂ヶ岡中）  
○第3分科会 土岐文行（檜原中）、小泉茂雄（修学院中）、李 大佑（向島東中）、松井剛史（神川中）、  
岩佐武司（凌風小中）、高橋俊行（高野中）

### 【4】今後の課題

- 研究や発信、集会運営等の活動全般において、持続可能な形態を検討しながら、本市人権教育の更なる発展につなげていきたい。
- これまでに同和教育が大切にしてきたものを継承・発展させ普遍化する。
- 同和問題をはじめとした人権問題認識の深化を図る実践・研究をさらに推進するため、中人研としての活動と4専門部会の活動を充実させる。
- 継続的に研究会活動に関わっていける人材の育成を目指し、次の世代への人権教育の継承を確かなものにする。

# 【教務部会】

## 1. 組織・役員（会員数 82 人）

部会長	林 秀雄（七条中学校長）		
副部会長	杉本 貴信（洛水中学校長）	副部会長	井上 俊幸（桃山中学校長）
幹事長	今岡 和貴（梅津中学校教務主任）	副幹事長	前川 俊（花山中学校教務主任）
庶務	曾田 直（西院中学校教務主任）	会計	矢本 雄生（烏丸中学校教務主任）
北・上京支部	佐藤 亮太（衣笠中学校教務主任）	中京支部	小森 弘史（西ノ京中学校教務主任）
下京・南・東山支部	北川 喜美（八条中学校教務主任）	左京支部	田中 功一（下鴨中学校教務主任）
山科・醍醐支部	小西 俊伸（音羽中学校教務主任）	右京支部	有本 重厚（宕陰小中学校教務主任）
西京支部	廣田 龍哉（洛西中学校教務主任）	伏見支部	森田 大介（桃山中学校教務主任）

## 2. 研究テーマ

『教務主任の責務と課題を自覚し、学校教育目標実現に資する教務主任の役割を研究する』

管理職を除く教職員組織の中で、教務主任が果たす役割は大きく、特に教育課程編成における諸課題への対応研究を通し、学校運営の円滑化や学校教育目標の実現に向け、教職員組織の中核としての意識を高め、いかにそれを実現していくかを研究の主たる目標とする。

また、令和4年8月に、中央教育審議会「質の高い教師の確保特別部会」において緊急提言が出され、全国的に標準授業時数を点検するよう求められる中、学校の働き方改革を踏まえた新しいカリキュラムの構築についても各校の取り組みを共有し、全市で改革が進むように工夫していく。

## 3. 活動の記録

- 各支部で教務主任会を実施（11回程度）、各校の情報を共有し合い、よりよい学校運営に供する話し合いを実施。
- 各月の教務主任幹事会を実施し（10回）、各支部での状況を把握すると共に工夫や課題克服に向けた情報を交換し合い、各支部に情報を還元することで情報を共有しあう。
- 全市教務主任総会（書面実施）
- 10.7（月）教務部会および進路指導部会 代表者連絡協議会
- 10.28（月）全市教務主任研修会

講演「これからの中学校教育と教務主任としての役割」

京都市教育委員会 京都市総合教育センター 研究課 参与 島本 由紀 先生

## 4. 今後の課題

- ① 教務主任の役割や責務の自覚及び各校の教育指導計画実現に向けた取組
- ② 教育課程編成における諸課題の明確化と研究・研修
  - \* 働き方改革を踏まえた教育課程編成の実施
  - \* 若手を中心としたOJT研修の情報交換・充実
- ③ 学校運営の効率化にむけた働き方改革の実践と研究
- ④ 採用10年までの教諭が半数以上を占め、教務主任を担う世代や状況も変化している中、部会として情報発信、サポートの充実。

# 【生徒指導部会】

通称：生指研（せいしけん）

事務局：大淀中学校

## 1. 組織・役員 〈会員数…300名〉 ◎…部長

会長 川上 貴由（大淀）  
副会長 岩田 智典（東山泉） 石田 裕之（栗陵）  
藤川 佳久（四条） 柴崎 恭江（京都御池） 上田 裕（桂川）  
坂本 直史（檜原）  
幹事長 眞田 宗明（大淀）  
幹事長補佐 平山 直樹（京都教育大学付属京都小中学校）  
副幹事長 松本 啓吾（勸修） 一谷 武志（凌風） 川崎 大輔（北野）  
庶務◎白井 純子（東山泉） 小泉 純子（久世） 橋元 信勝（洛水）  
会計◎東 なつき（嘉楽） 武智 真実（春日丘） 原田 功輝（大淀）  
研究部◎栗崎慎太郎（七条） 福田 崇大（嘉楽） 宮迫 嘉徳（神川）  
曾田 直（西院） 徳永 圭佑（音羽） 竹野 理（四条）  
松本 拓実（下鴨） 瀬田 尚史（北総合）  
調査部◎磯貝 聡（久世） 喜山 伸（桃山） 宮本 慶吾（音羽）  
千本 芳久（洛水） 小西 俊伸（音羽） 星野 大亮（東山泉）  
清水 貴幸（洛北） 平塚 龍樹（嘉楽） 日野亜斗樹（近衛）  
広報部◎栗林 洋平（春日丘） 磯田亜沙美（栗陵） 福本 徹也（松原）  
福田 優祐（神川） 山下 累（桂川） 岡本 純平（西京極）  
朝倉 将宏（修学院） 松田 明敏（東山泉） 小木曾恵美子（東山総）

## 2. 研究テーマ 「生徒の自己指導能力を育てるために」

### “集合体を集団に変える”

本研究会では、生徒たち自身が生活の中での問題に気づき、その時その場で何が正しいかを判断し行動する力、すなわち「自己指導能力を育てること」を生徒指導のねらいとして取り組んできた。自己指導力を育てるためには、生徒の自己理解、教員の生徒理解が基盤である。今年度、本研究会では、MLAについて学び、欲求理論・行動理論・愛着理論・ソーシャルボンド理論について学び、実際の対応や、授業づくりについて考察する土台作りを行ってきた。ワークショップの開催、京都大学院の岡邊健先生における、世界から見た日本の不登校についての学習会など、充実した活動を行うことができた。これらの研究活動について研究冊子『あゆみと研究』を通して、広く発信し次年度の研究につなげる予定である。

## 3. 活動記録

- ◇毎月の役員会の実施 ◇研究・調査・広報がそれぞれの分野で活動（広報紙を毎月発行）
- ◇夏季生徒指導幹事研修会の開催（8月）
- ◇生徒指導ワークショップ（11月）
- ◇生徒指導研究会役員学習会（1月）
- ◇「あゆみと研究」の発行（補連との共同）

## 4. 今後課題

- 研究会で学んだ実践を、京都市にどのように広げていくかを考えていく。



# 進路指導部会

通称:中進研

事務局:桃山中学校内

1. 組織・役員 会員数:78名(78中学校・小中学校・総合支援学校進路指導主事で組織)  
部会長 井上俊幸(桃山中校長) 副部会長 今枝潤之輔(久世中校長)、村田和之(勸修中校長)  
幹事長 本好正明(洛北中) 副幹事長 石井 充(安祥寺中)、岡本一義(東山泉小中)  
庶務 長行司大也(加茂川中)、松居紀子(洛西中)  
会計 満田 晋(大宅中)、鍋澤篤美(西京極中)

## ◆ 組織内での仕事内容

- 幹事会:活動全般の企画・立案、会誌作成、進路指導上の課題の研究と対応
- 支部会(北・上、中京、下京・南・東山、左京、山科・醍醐、右京、西京、伏見の8支部)  
支部研修の立案(支部幹事)、実践交流、進路情報の交換、進路希望調査と分析等
- 専門委員会
  - ・現職教育部会:新任研修、職場・高校見学の企画
  - ・生き方指導部会:進路学活資料、進路保護者会資料の充実、キャリア教育推進
  - ・進学部会(国公立・私立):入試の諸課題、希望調査、進学指導資料、中高連絡会
  - ・定通制・就職:定時制や通信制の状況、就職状況、ハローワーク・就職者の課題、各種学校
  - ・人権教育:人権上大きな課題を背負う生徒の進路保障、支援生徒進路

## 2. 研究のテーマ

主題「一人一人の自己実現に向けて、個性の伸長と適性に応じた進路指導の充実をはかる。

～生徒の進路保障を目指して～

- ① キャリア教育・生き方指導としての進路指導の充実
- ② 進路選択(就職・進学等)に関する流動的諸問題の解決
- ③ 情報交換や、小中・中高連携による進路指導の充実
- ④ 進路指導主事の職務に関する研修の充実と校内体制の確立
- ⑤ 奨学金・修学(就学)資金等の制度の理解と周知の徹底

## 3. 活動の記録

### (ア) 年間の活動状況

- 総会 年間3回、全体会 年間 10 回
- 支部会 年間6回
- 専門委員会 年間7回
- 中高連絡会 適宜
- 私学連合会との協議会 6/28
- 全中進研究協議大会 東京(実践発表)
- 夏季研修会 8/1・2・5
- 私立高校合同入試説明会 8/20・21・23
- 公立高校選抜要項説明会 9/13～(オンデマンド)
- 人権進路研修会 10/18
- 定通制協議会 10/25
- 近畿進路指導協議会 11/5 大阪
- 進路展望の拡大と情報収集 年間 10 回程度
- 新任研修 5/24、10/4

### (イ) 活動内容

- 公立高等学校の教育制度についての研究
- 研究テーマに沿った研修と実践交流
- 進路学活の資料作成と研修
- 入試内容と面接、小論文(作文)内容の調査、資料作成
- 進路志望調査とその分析、指導の方向性の検討
- 高校や関係諸機関との協議会
- 育成学級生徒の進路と職業学科についての研修
- 経済的支援制度についての研修
- 中卒就職者の進路指導上の課題についての研修
- キャリア<進路>ノートの活用の研修
- 公立定通制進学者の進路指導上の課題についての研修
- 外国につながる生徒の進路指導
- 進路指導主事の実務についての研修
- 配慮を要する生徒の受検(受験)に関する情報交換、研修

## 4. 今後の課題

- ① 公立高校の教育と選抜制度改革に対する中進研としてのよりよい進路指導を検討
- ② 進路状況の変化への対応と生徒の「将来展望」を見据えた進路指導の確立
- ③ 進路指導主事としての指導力や情報収集力の向上に向けた時間の確保とガイダンスの充実
- ④ 生徒一人一人への的確な進路情報の提供
- ⑤ 進路指導資料の充実と校内の進路指導体制の確立
- ⑥ 生徒一人一人が自分の適性を発見し、自ら進路選択できる力を身につける進路学活の研究と交流
- ⑦ 職場体験学習、高校体験学習など総合的な学習の時間と関係づけたキャリア教育を基軸とした進路指導のあり方を研究(キャリア<進路>ノートと「キャリアパスポート」の活用)
- ⑧ 人権に関する課題を背負わされている生徒、不登校生徒、日本語指導が必要とされる外国籍の生徒、障がいのある生徒や支援を必要とする生徒の進路展望の拡大
- ⑨ 卒業後の進路及び追指導をもとにした関係機関との連携の充実と未就職者の実態把握
- ⑩ 国・府・市の高校授業料に関する支援金や奨学金等の経済的支援制度に関する周知の徹底
- ⑪ 幹事会の世代交代、次第おくりに向けた人材の育成

# 【 安全教育部会 】

通 称：中 安 研  
事務局：蜂ヶ岡中学校内

## 【 1 】 組織・役員

会 長 勝原 雅美（蜂ヶ岡中校長）  
副会長 大町 静代（大宅中校長） 山田 真孝（神川中副校長）  
坂本 直史（樫原中教頭） 矢野 卓也（西賀茂中教頭）  
幹 事 竹野 理（四条中教諭） 中村 貴泰（安祥寺中教諭）  
藤田 嘉一（双ヶ丘中） 東郷 壮志（大宅中教諭）

## 【 2 】 研究主題

『生徒自らが自他の安全を守るための実践力の育成』  
～適切な安全指導・安全管理を通して～

## 【 3 】 研究内容

- (1) 学校安全計画による安全教育・安全管理の推進と教職員の防災意識の向上  
(HANAモデルの全校実施)
- (2) 「安全の手引」「安全ノート」を活用した授業研究（災害時の対応、自転車乗車中の危険予知等）
- (3) 「京（みやこ）安全通信」の発行（体育健康教育室と連携）
- (4) 防災設備などの校内環境の点検・整備
- (5) 安心・安全な地域を目指しての地域連携
- (6) 警察署や消防署などの関係諸機関との連携  
※学校保健会との連携を密にし、研修を深める。  
※学校と地域との防災面での繋がりを考える。

## 【 4 】 活動の記録（年間行事および活動状況）

- ・ 4月16日（火） 役員会（会則確認・組織・年間計画など）…書面にて
- ・ 5月14日（火） 京都市学校保健会第1回常務委員会
- ・ 6月11日（火） 京都市学校保健会理事会・評議員会
- ・ 7月25日（木） 第46回近畿学校保健連絡協議会（和歌山県和歌山市）
- ・ 7月28日（日） 第75回指定都市学校保健協議会（札幌市）：中安研より参加
- ・ 9月10日（火） 京都市学校保健会第2回常務委員会
- ・ 10月15日（火） 京都市学校保健会健康教育シンポジウム
- ・ 11月 7日（木） 全国学校保健・安全研究大会（宮崎県宮崎市）  
～ 8日（金） //
- ・ 11月16日（土） 研究発表会・表彰式
- ・ 11月21日（木） 学校安全実践向上出前講座  
(セーフスクール推進事業研究指定校：大宅中)
- ・ 2月27日（木） 今年度の反省と今後の研究課題について…書面にて
- ・ 「京（みやこ）安全通信」発行（1～10号）

## 【 5 】 今後の課題

- (1) 安全教育主任を中心に安全教育の意識を高めると共に、安全教育の研修の向上と強化を図る。
- (2) 「京（みやこ）安全通信」の内容検討と活動の推進
- (3) 安全学習の指導力の向上

# 【情報教育部会】

通称名 : 中情研(ちゅうじょうけん)  
事務局 : 久世中学校

## 【1】組織・役員 (会員数80名)

会長	: 今枝 潤之輔 (久世中)	常任幹事長	: 吉田 幸平 (小栗栖中)
副会長	: 宮國 雅史 (春日丘中)	副幹事長	: 谷田 輝 (久世中)
〃	: 齊藤 由三 (七条中)	常任幹事	: 多那瀬 真穂 (大枝中)
庶務	: 多那瀬 真穂 (大枝中)	〃	: 和田 正裕 (下京中)
会計	: 岡田 高芳 (上京中)	〃	: 岡田 高芳 (上京中)
会計監査	: 長井 秀樹 (修学院中)	〃	: 川村 昌広 (山科中)
研究部長	: 和田 正裕 (下京中)	〃	: 須田 翔大 (西ノ京中)
研修部長	: 西浦 誠人 (加茂川中)	〃	: 西浦 誠人 (加茂川中)
事業部長	: 古澤 憲治 (嵯峨中)	〃	: 吉岡 竜太 (山科中)

## 【2】研究活動方針

- 《研究部》
1. GIGA 端末を利用した効果的な I C T活用の研究
    - ・教育ソフト, コンテンツの活用方法及びプログラムの研究
    - ・情報教育機器の研究
    - ・GIGA タブレットの活用例の紹介など
  2. 情報教育の実態調査と課題解決のための研究
    - ・光京都ネット内コンテンツの効果的な活用
    - ・LAN 環境におけるシステム管理の現状と課題
    - ・インターネットの効果的な活用法と課題
  3. 中学校におけるプログラミング教育についての研究
- 《研修部》
1. I C T活用, 情報教育機器活用に関する研修の企画・運営
  2. 情報モラル, セキュリティに関する研修の企画・運営
  3. その他研修会(伝達研修・その他)の企画・運営
- 《事業部》
1. 公開授業(支部・全市)の企画・推進・まとめ・報告
    - ・情報モラルに関する授業の交流
  2. 研究のまとめ
    - ・研究会のまとめ作成
    - ・中情研ホームページづくり・更新
  3. 情報教育の広報活動
    - ・ソフトウェア, 部会の取組等の紹介
    - ・子ども体験教室の企画, 実施
  4. 情報教育機器の活用に関する工夫についての発信
    - ・冊子, ホームページでの紹介等

## 【3】活動の記録

4月30日	第1回幹事会(部会長選出・総会準備等)	久世中学校
5月23日	総会 ➡ 資料配付	
8月1日	教育情報化総合研修会(総合教育センター)	
9月14日	第2回幹事会(第1回子ども体験教室企画等)	久世中学校
10月10日	第1回子ども体験教室案内配布	
11月1日	第1回子ども体験教室(中総文) 「プログラムを使ってトイドローンを動かそう」 参加希望者無く、中止	総教C
12月4日	第3回幹事会(第2回子ども体験教室企画・情報交換)	久世中学校
1月22日	第4回幹事会(第2回子ども体験教室準備)	教育相談総合センター
2月1日	第2回子ども体験教室(小情研共催・ふれあいの杜協賛)	教育相談総合センター
3月 予定	第5回幹事会(年度末総括)	久世中学校

## 【4】今後の課題

- ・子ども体験教室による情報教育の推進
- ・情報研修会の開催等、小情研との共催について
- ・GIGA 端末利用にかかる研究の推進

# 【図書館教育部会】

通称 図書研(としよけん)

## 1. 組織・役員 (会員数 17人)

部会長	瀧本 祐一郎 (大原小中学校校長)	
副部長	岩田 智典 (東山泉小中学校校長)	森田 紀子(松尾中学校校長)
	林 秀雄(七条中学校校長)	河邊 利夫(衣笠中学校校長)
幹事長	樋口 孝枝 (樫原中学校教諭)	
庶務	長谷川万美子 (勤修中学校教諭)	
会計	中井 文栄 (音羽中学校教諭)	
会計監査	岩見 洋一郎 (桃陵中学校教諭)	
役員・委員	山口 さやか (太秦中学校教諭)	糸原 登代美 (洛友中学校教諭)
	末永 理紗 (勤修中学校教諭)	藤原 美仙 (西京極中学校教諭)
	井上 彰子 (西総合支援学校教諭)	中辻 佳代 (安祥寺中学校教諭)
	小倉 望 (開晴小中学校教諭)	後藤さやか (上京中学校教諭)

## 2. 研究テーマ

「主体的・対話的で深い学び」を実現する学校図書館、公共図書館の連携や ICT 有効活用

## 3. 活動の記録

- ・5月1日 京都府学校図書館研究大会実行委員会
- ・5月27日 ビブリオバトル準備委員会
- ・5月29日 京都府学校図書館研究大会実行委員会
- ・6月17日 総会・研修会 zoom開催(年間計画など)
- ・6月25日 京都府学校図書館研究協議会総会
- ・7月3日 京都府学校図書館研究大会実行委員会
- ・7月 第69回全国青少年読書感想文コンクール 募集案内
- ・7月9日 すいせん図書一覧表 作成・全市配信
- ・7月10日 第1回「子どもの読書活動推進のための懇談会」会場:京都市生涯学習総合センター(アスニー)
- ・8月 中・総 学校図書館活用推進研修会 未実施
- ・8月28日 京都府学校図書館研究大会実行委員会
- ・9月17日 京都府学校図書館研究大会実行委員会
- ・10月4日 京都府学校図書館研究大会 会場:京都市総合教育センター
- ・10月21日 全国青少年読書感想文コンクール一次(京都市)審査 会場:七条中学校
- ・11月1日 全国青少年読書感想文コンクール一次(京都府)審査 会場:こども未来館
- ・11月2日 京都市中学校総合文化祭 京都市中学校ビブリオバトル大会 会場:右京中央図書館
- ・11月4日 京都市中学校総合文化祭 京都市中学校ビブリオバトル大会 会場:醍醐中央図書館
- ・12月11日 京都市中学校総合文化祭 京都市中学校ビブリオバトル大会総括会議
- ・12月12日 第2回「子どもの読書活動推進のための懇談会」会場:京都市生涯学習総合センター(アスニー)
- ・12月18日 京都府学校図書館研究大会実行委員会 会場:上鳥羽小学校
- ・1月14日 「京都府読書感想文コンクール」中高の部合同審査会 会場:上鳥羽小学校
- ・2月 役員会(年間総括等) zoom開催
- ・2月25日 京都府学校図書館協議会臨時総会 会場:上鳥羽小学校
- ・2月 第3回「子ども読書活動推進のための懇談会」 場所:京都市生涯学習総合センター(アスニー)

## 4. 今後の課題

研究活動の充実のための体制づくり、活動の実現を図る

- ・ 新たな会員の獲得・拡大による役員会の活性化をはかり、持続可能な部会運営を追求する。
- ・ 来年度以降も、「ビブリオバトル」を公共図書館との共催によって開催する。
- ・ ICTの活用により、読書・学習・情報センターとしての学校図書館機能を充実させる取組を発信する。
- ・ 各校図書館教育担当者への情報発信や取組参加依頼を通して、各校の図書館教育の活性化を推進する。
- ・ 支部図書館教育担当者会を実施するなどし、支部活動の活性化を目指す。
- ・ 公共図書館との連携を進める中で、主体的に読書に親しむ環境づくりの推進を図る。

# 《発達障害教育部会》

通称：中発研

事務局：洛北中学校内

## 〔1〕組織・役員 会員数・・・160名

会長 小田 浩之（洛北中学校長）

顧問 上野 政弘（高野中学校長）・寺西 大輔（二条中学校長）

副会長 多那瀬 真穂（大枝中）・仲谷 美穂（凌風小中）

幹事 竹中 由佳（西賀茂中）・堀井 俊克（大淀中）・木村 俊晴（春日丘中） 庶務 多那瀬

岡村 美江（音羽中）・力石 郁（高野中）・丸 民代（二条中） 会計 力石

## 〔2〕研究テーマ 『一人ひとりを大切に、発達の可能性を最大限に伸ばす教育をめざして

～将来に向けて今つけるべき力を考える～』

## 〔3〕活動の記録

### （1）年間行事・活動一覧

月 日	行 事	会 場
7月2日	合同球技大会	島津アリーナ
7月25日・30日	施設見学研修会・夏季情報研修会	立命館プラス・加茂川中学校
8月9日	近特連兵庫県大会	兵庫県芦屋市
8月22日～23日	夏季宿泊学習(サマーキャンプ)	花背山の家
8月27日～9月2日	科学センター学習	青少年科学センター
9月25日～29日	京都市幼児児童生徒作品展、姉妹都市交歓作品展	京都市美術館 別館
11月21日・22日	全特連福井県大会	福井県福井市
11月22日	合同運動会	島津アリーナ
12月9日	市総連連絡協議会研究発表	京都市総合教育センター
1月18日・20日	第93回京都市中学校生徒書き初め展	京都市総合教育センター
1月23日～24日	冬の宿泊体験学習	花背山の家
2月6日～9日	第47回大合同作品展「小さな巨匠展」	京都市美術館 別館
2月	研究紀要「麦の芽」(第74号) 編集・印刷	

（2）幹事会 毎月第1火曜日 二条中学校、洛北中学校

（3）定例会 毎月第2火曜日 総合教育センター、凌風小中中学校

## 〔4〕今後の課題

（1）合同行事の意義を踏まえつつ、全会員の協力体制の構築、さらなる内容の充実を目指して検討する。

（2）講師が半数を超えた現状を鑑み、障害・発達に応じた教育課程の自主編成に役立てるためによりよい指導計画の検討や実践事例研究、教材・教具の開発等の充実を図る。

（3）高等部職業学科(白河・東山・鳴滝)及び普通科への進路指導の進め方を確認・徹底すると共に定時制・通信制や私学など支援学校以外の進路希望の増加と多様化を踏まえ、進路

保障・進路指導の充実を図るために、これまで以上に研究や情報交換をすすめる。

- (4) 育成学級に入級してくる生徒の障害の多様化に伴い、育成学級の運営や活用における問題、就学指導や発達障害のある生徒への支援の在り方、LD等通級指導教室との連携など様々な検討課題がさらに増加している。研究会として、今後も大きな視野に立って継続的に検討していく。

# 【二部学級部会】

通称：二部研

## 1 組織・役員

会長	間野 郁夫 (洛友中校長)	研究部	朝岡 洋一 (洛友中常勤講師)
副会長	土岐 文行 (樫原中校長)		柿 佑爾 (洛友中常勤講師)
〃	西村 府子 (洛友中教頭)	〃	尾崎 北斗 (洛友中常勤講師)
総務部	細井 雅博 (洛友中教諭)	〃	内田 直 (洛友中常勤講師)
研究部	若松 栄一 (洛友中教諭)	〃	井上 恵理 (洛友中常勤講師)
〃	新谷 路子 (洛友中教諭)	〃	伊藤 晴美 (洛友中養護教諭)
〃	城戸 美乃 (洛友中教諭)	経理部	糸原登代美 (洛友中教諭)

## 2 研究テーマ・活動目標

世代、国籍等、多様化する夜間中学校（二部学級）生徒に対する教育活動の充実を図るための研究及び、夜間中学校の存在や活動を広く周知するための広報のあり方についての検討と実践

- ①学力実態や日本語の習得程度を踏まえた学級編成、学習指導、教材作成についての研究、実践
- ②すべての教科や取組での効果的な日本語指導のための、連携のあり方に関する研究、実践
- ③二部学級生徒の社会性、協調性などを育む学校行事等の研究、実践
- ④多様な生徒に応じた進路選択のための情報収集、整理
- ⑤研究大会参加、外部団体、他夜間中学校などとの交流により先進的な取組を学び、活用する
- ⑥視察等を積極的に受け入れることで、洛友中学校二部学級の実践成果を生かす
- ⑦二部学級への理解と周知を図るとともに、生徒の社会経験を広げるため地域交流の実践
- ⑧学校公開を実施し、人権教育への貢献、形式卒業者への周知などを図る
- ⑨多様な生徒が学びあい、尊重しあうことを目指した昼間部学級生徒との交流活動の企画、実践
- ⑩二部学級（夜間中学校）の存在が幅広く周知されるための広報のあり方の研究と実践

## 3 活動の記録（年間計画・活動状況）

- ①年間研究計画協議会（年度当初）、次年度課題協議会（年度末）
- ②研修会事業（年10回）…生徒理解・教育課程・学習指導・進路指導・ICT活用等
- ③夜間学級生徒調査（年2～3回）…生徒実態調査・健康調査・設置校実態調査等
- ④他夜間中学校への視察（東京都、姫路市、徳島市）、交流（姫路市、大阪市、三豊市）などの活動
- ⑤視察・人権交流・外部研修会などの随時受け入れ（1月末現在約30件）
- ⑥全国夜間中学校研究会（全夜中研）・近畿夜間中学校連絡協議会（近夜中協）に関する活動  
6/14 全夜中研理事会 12/5,6 全国夜間中学校研究大会
- ⑦第32回東九条マダダン作品展示参加（11月3日：元陶化小学校）
- ⑧夜間中学校の周知を図るための広報活動（夜間中学校紹介のための絵本作成、発表・展示会など）
- ⑨研究誌『夜空』刊行事業（年1回年度末刊行）

## 4 今後の課題

- ①日本語指導の効果的な方法や教材作成、教育課程編成などについての研究と実践
- ②多様な生徒個々の目標を踏まえた学習指導や組織編成のあり方についての研究と実践
- ③新渡日、形式卒業者、高齢者等、様々な課題を持つ生徒への対応のあり方、SC、SSW、関係機関との連携についての研究と実践
- ④昼間部生徒を含めた多様な生徒が、互いを尊重する効果的な学校行事や交流活動の研究と実践
- ⑤より広く夜間中学校を必要とする方に周知されるための効果的な広報活動等の検討と実践
- ⑥将来展望を実現させる、生徒個々の目標や現状を踏まえた進路指導についての研究と実践

# [へき地・小規模校教育部会]

中へき研（ちゅうへきけん）

事務局：宕陰小中学校

## (1) 組織・役員 . . . . . 会員数 26名

会 長	明田 圭子	(宕陰小中校長)
副 会 長	板垣 嘉郎	(花背小中校長)
庶 務	有本 重厚	(宕陰小中教諭)
会 計	竹島 智晴	(宕陰小中教頭)
会計監査	足立 尚弘	(花背小中教頭)
<b>研究委員</b>	小林 修	(花背小中教諭)
	有本 重厚	(宕陰小中教諭)

## (2) 研究テーマ・活動目標

### ○研究テーマ

学校間の連携を深める中で、へき地・小規模校の特性をふまえ、個に応じた学習指導方法を研究・推進することにより、学力と社会性を兼ね備えた生徒の育成を図る。

### ○活動目標

- ① 各教科・領域の研究活動を活発にし、各校の課題に応じた研究を推進する。それらの取組を相互に交流することにより、更なる指導力の向上を図る。
- ② 生徒の個性を伸ばし、自らの生き方を考えさせ、主体性を高めさせる研究活動を推進する。
- ③ 合同行事を通じて、生徒達の交流を深め、自主性や社会性を高める活動を推進する。
- ④ へき地・小規模校の特性を生かし、義務教育学校として9年間を見据えた教育課題について研究を深める。
- ⑤ へき地の地理的条件を克服していくために、情報機器等の積極的な活用を推進する。
- ⑥ へき地校の変容を踏まえ、小規模校との連携を深め、今後の研究会活動の改善と推進を図る。

## (3) 活動の記録（年間計画・活動状況）

- ・ 5月23日 年度当初総会（於 京北小中学校）
- ・ 8月 5日 夏季へき地教育研究集会（於 宕陰小中学校）
- ・ 8月30日 合同学習（台風のためオンライン）
- ・ 9月 4日 合同校外学習（京都文教高校見学・岡崎周辺グループ散策）
- ・ 9月 5日 合同学習会（オンライン）
- ・ 10月10日～11日 第73回全国へき地教育研究大会岡山大会に参加  
（岡山県総合教育センター・岡山県内5校5会場）
- ・ 10月22日 宕陰小中学校 研究発表会
- ・ 11月14日 花背小中学校 公開授業研究会
- ・ 2月 日 年度末総会

## (4) 今後の課題

今年度は総会や合同学習に加え、夏季研究集会が実施できたことで教職員の連携や研究がより進められた。1回目の合同学習は、台風のためオンライン実施とした。ICT機器の活用は、へき地校が抱える災害や遠方という課題克服に繋がってきている。今後もこれまでの教育実践の蓄積に ICT 機器を連結させ、教育活動の一層の充実を図っていきたい。



# 京都市立中学校教育研究会吹奏楽部会



## 組織・役員

部会長 山口基之（京都御池中学校校長）

副部会長 柿谷隆子（洛北中学校副校長）

顧問 平林秀二（総合教育センター研究課参与）

指導助言 野々口美咲（総合教育センター指導主事）

委員長 丸山早希（京都御池中学校）

副委員長 寺内久貴（四条中学校）

事業部 ○吹奏楽演奏練習会

○中総文吹奏楽演奏発表会

○楽器講習会

丸山早希（京都御池中学校）、寺内久貴（四条中学校）

寺内久貴（四条中学校）、長谷川 学（神川中学校）、

木下 純（上京中学校）、川田 栞（四条中学校）、

細矢 衛（山科中学校）、川口杏香（凌風小中）

川田 栞（四条中学校）、橋本順子（烏丸中学校）、

木下 僚（洛北中学校）、西中 悠（京都京北小中学校）、

西村拓真（九条中）

研究部 調査担当 丸山早希（京都御池中学校）、寺内久貴（四条中学校）

庶務部 丸山早希（京都御池中学校）、川口杏香（凌風小中）、西中 悠（京都京北小中学校）、

西村拓真（九条中）、細矢 衛（山科中学校）、木下 僚（洛北中学校）

会計 西中 悠（京都京北小中学校）、橋本順子（烏丸中学校）、川田 栞（四条中学校）

会計監査 木村 綾（下鴨中学校）

## (1) 研究テーマ

吹奏楽部の活動の充実を図るために、指導法及び有意義な部活動のあり方を研究する。

## (2) 活動の記録

月日	名称	内容等
5/2	旧常任委員会	令和6年度事業計画案、総会に向けて等
6/18	定期総会	令和5年度事業・決算報告及び承認 令和6年度役員・計画・研究テーマ等提案及び承認
7/25	吹奏楽演奏練習会	右京ふれあい文化会館にて実施（7校参加）
9/26	常任委員会	吹奏楽演奏発表会について、今後の事業日程について、地域移行について
10/21	常任委員会	吹奏楽演奏発表会の運営について、楽器講習会について
11/3	吹奏楽演奏発表会	堀川音楽高等学校音楽ホール 14校（400人）出演
11/25	常任委員会	吹奏楽演奏発表会の総括、楽器講習会の運営について
1/18	楽器講習会	四条中学校にて（206人参加）
2/26	常任委員会	年度末総括、次年度活動計画策定
3月	基本調査の実施	楽器等の物的条件と顧問・指導者の人的条件の把握

## (3) 今後の課題

○研究会活動をより充実・継続・発展させるための、教科の枠を超えた幅広い人材の発掘と育成。

○各校での活動実態や楽器整備状況などの調査による課題の明確化。

○部活動ガイドラインを踏まえた限られた時間での効果的な指導方法の開発・共有。

○日々の活動や楽器講習会などの事業の実施方法の確立。

○部活動地域移行に関する課題について

## 【新聞教育部会】

事務局：嵯峨中学校内

### 【1】組織・役員

会長 山崎 直人（嵯峨中・校長）  
副会長 上畑 直久（西賀茂中・校長） 東谷 祐子（西京高附属中・副校長）  
          福田 博天（東山泉小中・副校長） 藤川 佳久（四条中・教頭）  
理事長 石田 誠（上京中）  
副理事長 石田 典子（久世中） 川北 雅美（松原中）

### 【2】研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びを実現する新聞教育～新聞教育の日常化を通して～」

新聞の活用は思考力・判断力・表現力を高めるうえで効果的であるとし、新聞を活用した授業の工夫を求めている。新聞記者によって深く情報読解された記事を教材として取り上げることによって、「なぜ、どうして」というニュースの背景を深く読み解くことができる。また、新聞づくりの活動は、それ自体が取材という情報収集に基づいた「思考・判断・表現」の活動そのものである。新聞教育に取り組む学校や教員は少なく、長く続いたコロナ禍もあって研究会として横のつながりを構築できていない。また会員も少数で困っている状況である。

文部科学省が選挙権年齢や成年年齢の引き下げ等に伴い、生徒が主体的に主権者として必要な資質・能力を身につける上で、学校図書館への新聞複数紙の配備が進められている。今年度はNIE全国大会京都大会が開かれるので、発表校を中心に活動を進めていきたい。

- 京都市立中学校における壁新聞づくりの伝統を生かして、新聞づくりを活用した情報発信について調査・実践・研究を進めるとともに、A3版新聞用紙の無償提供により各校の新聞制作を支援する。
- 授業や総合的な学習の時間等で必要な「活用する力」を高めるために、どのような取組が効果的であるかについて、NIE活動の実践を踏まえて研究を進める。
- 各校の授業や取組に資する教材等についての情報提供を行う。
- 小学校新聞教育研究会との連携し、9年間を見通した新聞教育の在り方についての研究を進める。
- 京都古文化保存協会・小新聞研・京都新聞社との共催で、文化財取材コンクールを実施する。
- 中学校総合文化祭で新聞展を行い、A3版新聞用紙を提供して作成方法を発信する。
- 令和6年度NIE全国大会京都大会に向けて、実践発表校とともに準備を進める。

### 【3】活動の記録

- 5月31日 京都府NIE推進協議会総会・NIE全国大会京都大会実行委員会（ハートピア京都）
- 6月3日 第1回理事会・総会（メール回議で開催）
- 7月27日 第61回 小・中学生記者による文化財取材コンクール（京都文化博物館）  
[公益財団法人 京都古文化保存協会 との共催]
- 8月1・2日 第29回 NIE全国大会京都大会（ロームシアター京都・京都経済センター）  
※実践発表：京都市立西京高等学校附属中学校（矢倉 裕也 教諭）
- 10月25日 第2回理事会・中総文新聞コンクール審査会（嵯峨中学校）
- 11月1・2日 第40回 京都市中学校総合文化祭新聞展（総合教育センター）
- 11月25日 京都府NIE推進協議会総会・NIE全国大会京都大会実行委員会（京都新聞社）
- 11月26日 第61回 文化財取材コンクール表彰式（京都文化博物館）
- 2月1日 第24回京都府NIEセミナー（京都新聞社）
- 2月28日 第3回理事会（メール回議で開催）

※今年度は全国大会開催のため、京都府NIE推進協議会主催の「NIE実践者懇談会」は開催中止。

### 【4】令和6年度京都府NIE実践指定校（京都府NIE推進協議会）

京都市立西京高等学校附属中学校〔2年目〕 京都市立松原中学校〔1年目〕

### 【5】今後の課題

- 新聞活用の現況を踏まえ、潜在的な活動（個人・団体）を支援・推進していく。
- NIE推進協議会等の関係諸団体との連携を図り、各校への支援体制を整える。
- 新聞教育やNIEに関わる教員を掘り起こし、会員を募って研究会活動を活性化させる。
- 教科教育や図書館教育等との連携を図り、新しい展開を模索する。
- 各種コンクール等への参加を広く呼びかけ、取組の拡充を図る。
- 教科等での新聞制作を支援するために、引き続きA3版新聞用紙の提供を進める。

# 【放送教育部会】

## 1 組織・役員〔加盟校 71校〕

部会長 岩佐 峰之(京都市立西京高校附属中学校長)

副部会長 久保 泰雄(京都市立朱雀中学校)

幹事長 八藤 由之(京都市立安祥寺中学校)

幹事

京都市立花背中学校	栗山 准
京都市立神川中学校	西尾 治男
京都市立梅津中学校	稗田 昂
京都市立安祥寺中学校	今出 絵里佳
京都市立安祥寺中学校	栈敷 真理子
京都市立梅津中学校	稗田 昂
京都市立藤森中学校	藤田 香世
京都市立烏丸中学校	福井 佑梨
京都市立西京高等学校附属中学校	松永 緋花里
京都教育大学附属桃山中学校	渡邊 恵子
ノートルダム女学院中学校	中西 悠子
洛南高等学校附属中学校	澤田 篤努
大谷中学校	谷口 剛

## 2 研究テーマ・活動目標

研究テーマ:豊かな感性と生きる力を育む放送教育の役割についての検討

-生徒アナウンスの技術向上により、学校行事や生徒会活動での放送教育の充実を図る-

### 活動目標

高度に情報化された現代社会では、学校に限らず社会の様々な現場において、各種のメディアをいかに効率よく活用して、正確かつ迅速に情報を伝達することが大きな課題となっている。本研究会は、本市中学生のアナウンス、朗読及び映像等の番組制作の技術向上の機会を企画し、その企画を通じて、放送技術や視聴覚教材を活用した放送番組の制作技術向上を図るとともに、京都市立中学の放送教育の充実と活性化に資す。



## 3 活動の記録(令和6年度 年間活動計画)

7月7日 NHK杯全国中学校放送コンテスト 京都府大会

11月22日 近畿放送教育研究大会 兵庫大会 研究実践発表

10月25日 JAET 日本教育工学協会 参加

2月 2日 京都市中学校アナウンスコンクール



## 4 取り組み成果と今後の課題

(1) 本部会の主催する NHK 杯全国中学校放送コンテスト京都府大会ならびに京都市中学校アナウンスコンクールへの参加中学校は、以前から、固定化する傾向が見られていた。近年の取り組みとして、コンクールの参加部門を増し、多様な生徒が参加しやすくなるよう工夫をし、団体部門を新しく設けることで、コンクールの参加生徒数は年々増加している。

昨年度から、朗読部門を 2 部門として、開催している。

(2) 加盟する上位組織への加盟登録費用の財源について、その確保の方策を引き続き検討する。

(3) 情報教育部会との組織合同が可能か、引き続き模索する。

# 【演劇部会】 (通称「中劇研」)

◇会員17名(8校) ◇事務局：立命館中学校

## 【1】組織・役員

会長 野村 一真 (松原中学校長)  
副会長 小田 浩之 (洛北中学校長)  
事務局長 鍵山 千尋 (立命館中学校)  
事務局次長 青木 雅大 (洛北中学校)  
会計 松坂 夏海 (音羽中学校)  
庶務 青木 雅大 (洛北中学校)・加星 あづさ (京都女子中学校)  
田畑 彰子 (同志社中学校)  
ドラマスクール担当 加星 あづさ (京都女子中学校)  
発表担当 片山 知行 (洛星中学校)・鍵山 千尋 (立命館中学校)  
大道具 片山 知行 (洛星中学校)  
会計監査 西出 佳菜 (同志社国際中学校)  
演劇フェスティバル担当 鍵山 千尋 (立命館中学校)

## 【2】研修テーマ・活動目標

○テーマ 「心と身体解放を目指して」

☆演劇の創造と鑑賞の活動をとおして、生徒の人間形成に資そうとする演劇教育を  
中学校教育で、さらに活用できるように個々の教師力の向上を図っている。

☆演劇部の顧問以外にも関心を持ってもらえたらと考え、取組に関して発信するこ  
とを一層重視する。

☆ICTの活用を図る。

{具体的内容}

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ①学校演劇の指導法の研究・研修 | ②演出の方法の研究・研修        |
| ③発声・身体表現の研究・研修  | ④照明・音響・道具等の技術の研究・研修 |

## 【3】活動の記録 (年間行事・活動状況・例会、役員会等は必要に応じて開催)

○主な年間行事

4月20日(土)	第1回中劇研例会 ・今後の活用内容について ・大会を開催するための留意事項など
5月25日(土)	講習会・研修会
6月1日(土)・6月2日(日)	リハーサル・研修
6月8日(土)・6月9日(日)	春の合同発表会
8月1日(木)・8月2日(金)	ドラマスクール
9月7日(土)	第2回中劇研例会 ・秋の発表会参加校決定及び抽選会 ・役割分担及び大会運営に関する決定事項の 確認
11月16日(土)・17日(日)	秋の合同発表会(京都市中学校総合文化祭)

## 【4】今後の課題

- ①発表会場の確保
- ②照明・音響等についての研修の実施
- ③研究成果の記録
- ④指導法などのマニュアルづくり
- ⑤文化部（演劇部等）の活性化
- ⑥京都府高等学校演劇連盟との連携
- ⑦ICTの活用
- ⑧会場清掃費用の確保

# 〔食教育部会〕

通 称: 中食研 (ちゅうしょくけん)

事務局: 旭丘中学校

## 1. 組織・役員会員

会 長	谷川 玲子	(旭丘中学校校長)	副会長	古口 賢一	(嘉楽中学校校長)
副会長	大町 静代	(大宅中学校校長)	副会長	原 秀樹	(安祥寺中学校校長)
副会長	逆水 由紀	(花山中学校校長)			
幹 事	新谷 裕美	(上京中学校教諭)	幹 事	池田 純子	(下京中学校教諭)
幹 事	地家しずか	(栗陵・醍醐中学校教諭)	幹 事	中西 仁美	(嵯峨中学校教諭)
幹 事	今川 早紀	(桂川中学校教諭)			
担当主事	島 さやか	(総合教育センター)			
担当主事	出野 豪宏	(体育健康教育室)	担当主事	田中 愛里	(体育健康教育室)

## 2. 研究テーマ・活動目標

### 『中学生の食に関する意識の向上と食教育としての指導の充実を図る』

中学生の食に関する意識を向上させること並びに食教育に関する指導の充実に向け、その指導内容・方法についての研修・研究を深め、中学校に発信する。

- (1) 学校現場での食に関する指導のあり方についての研修 (「食に関する指導の全体計画」に基づいた取組・指導の検討)
- (2) 自主研修会の開催
- (3) 他の研修会・食に関する講座等に参加、伝達研修の実施
- (4) 給食レシピ募集・食に関する標語等、中学校の食教育に取り組む意識向上の手立てを検討

## 3. 活動の記録

- 5月28日 ・中学校給食・食教育推進部会  
講義「食に関する指導の充実について」(指導主事 増田 真弓)  
協議 「自校における食に関する指導の課題について」「昼食指導の実態について」
- 6月5日 ・第1回食教育部会…今年度の活動、「中学校給食レシピ募集」について
- 6月 ・「中学校給食レシピ募集」
- 8月～12月 ・食教育に関するアンケートや食に関する標語、実践事例募集等、中学校での食に関する意識の向上と食教育に取り組む手立てを各校で検討、実践
- 9月24日 ・第2回食教育部会…「給食レシピ」審査、「標語」「実践事例」募集について
- 10月 ・「食に関する中学生標語」および「食に関する実践事例」の募集
- 2月 5日 ・第3回食教育部会…「標語」優秀作品の選定、本年度の反省と今後の課題
- 2月 ・「食に関する実践事例」の全市発信

## 4. 今後の課題

- (1) 研究会活動の体制づくりと活性化。
- (2) 中学校へ食育の啓発(広報活動)と食教育の更なる推進(実践事例)。
- (3) 「食に関する指導の全体計画」を踏まえ、各教科領域・各学年と連携して指導を推進する。
- (4) 全員制中学校給食導入へ向けて

# 「総合的な学習の時間部会」 (通称：ちゅうそうけん)

事務局：加茂川中学校

## 1 組織及び役員

会員数 79名

部会長	森下 治樹	加茂川中学校	校長		
副部会長	瀧本祐一郎	大原小中学校	校長	森 茂昭	下京中学校 校長
	上畑 直久	西賀茂中学校	校長		
幹事長	藤本 裕之	下京中学校	教諭 (シニアマイスター)		
副幹事長	岡田 辰也	醍醐中学校	教諭 (マイスター)		
	前川 俊	花山中学校	教諭 (シニアマイスター)		
庶務	白井 純子	東山泉小中学校	教諭 (シニアマイスター)		
会計	山中麻由実	西京高校附属中学校	教諭		
企画	野間 勇輝	双ヶ丘中学校	教諭 (マイスター)		
	福田 優真	凌風小中学校	教諭 (マイスター)		
	今河 慶昭	久世中学校	教頭 乾 由紀	生き方探究館	指導主事
	東 俊介	科学センター	主任主事		

## 2 研究テーマ「学習指導要領に則した「総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学び」を追究する」

### (1) 研究目的

「主体的・対話的で深い学び」を総合的な学習の時間とどのように関連付けて各教科で実践していくかについて、主体的な学びの視点では「学習活動を発展的に繰り返していく過程を重視し、課題設定と振り返りの充実」である。また、対話的な学びの視点では「他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深めるような学びの充実」が必要であり、深い学びの視点では「今まで以上に学習過程の質的向上」ことがそれぞれ必要となる。あわせて、「「探究のプロセス」の沿った活動のできる「探究課題」になっているか」の見直しを図る中で、「目標実現をするにふさわしい探究課題」の設定することが必要であり、探究的に関わりを深める人・もの・ことを、生徒が探究的な学習に取り組むことができる課題の設定について研究を深める必要がある。京都市における小中一貫教育の展開のもと、本研究会が主体となり、全市的な交流を深める中、最大の教育効果を生み出すことを目的とした。

### (2) 研究内容

- 実践交流を積極的に進め、具体的な指導のアイデアや指導技術の交流を図り、自校で実践できる力を身に付けてもらえるようにした。
- 学習会を定期的に行い、経験の浅い総合的な学習の時間主任の研修を深めた。
- 小中一貫の視点に立ち、学びの連続性の研究をすすめた。(合同での研修会の推進の強化)
- 教科および道徳、特別活動などの横断性の確認とクロスカリキュラムの可能性の研究を進めた。
- 高校、大学、民間などとの連携や外部資源の活用方法などについてそのノウハウを高めた。
- 研究会活動への参加者を募り、組織の拡大を図ると同時にモデル校の幅を広げる。
- 指導計画(京都市スタンダード)を使った研修を深めた。

## 3 活動の記録

・令和 6年 5月 16日	第1回役員会	オンラインにて
・令和 6年 5月 24日	総合的な学習の時間主任研修会・総会	総合教育センター
・令和 6年 6月 7日	授業実践向上講座①	総合教育センター
・令和 6年 7月 25日	指導講座	総合教育センター
・令和 6年 8月 1日	授業実践向上講座②参加	総合教育センター
・令和 6年 10月 16日	第2回役員会	オンラインにて
・令和 7年 2月 10日	第3回役員会	オンラインにて
・令和 7年 3月 7日	学習会	東山泉小中学校にて

## 4 今後の課題

総合的な学習の時間における探究学習については、今後、小学生から高校生まで繋がっていく認識のもと、中学生の段階でどのような探究学習や探究活動が求められていくのかを系統立てて取組を他校種とも連携しながら検討して行く必要がある。総合的な学習の時間において探究活動をどのように実現できるかを考察し、研究会として発信することが、来年度の課題である。

# 【研究主任部会】

事務局：開晴小中学校

## 1. 役員及び組織

部会長	野村 昌孝（開晴小中）		
副部会長	森 茂昭（下京中）	副部会長	立垣 典子（北野中）
幹事長	越田 友喜（向島秀蓮小中）	副幹事長	種子 勇太（久世中）
庶務	北川 晴香（二条中）	会計	池田 敏浩（藤森中）
北・上京	木村 一平（烏丸中）	中京	和田 香織（中京中）
下京・南・東山	桶作 浩子（八条中）	左京	山崎 遥（下鴨中）
山科・醍醐	鈴木 遼（勸修中）	右京	西本 拓平（西院中）
西京	坂田 悠介（桂中）	伏見	越田 友喜（向島秀蓮小中）
総合教育C	西川 知也 主任指導主事	学校指導課	深尾 彰 首席指導主事
総合教育C	三田村 結香 副主任指導主事		

## 2. 研究テーマ

「資質・能力の育成を目指した授業改善」～『個別最適な学び』と『協働的な学び』を意識して～

## 3. 活動の記録

- 4月15日（月） 第1回全市研究主任研修会、研究主任部会総会  
 ○講義「校内研究の推進と充実を図るために」総合教育センター 三田村結香主事  
 『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実 同 西川 知也主事
- 5月13日（月） 第1回幹事会  
 5月20日（月） 第1回支部研究主任研修会  
 6月10日（月） 第2回幹事会  
 6月17日（月） 第2回支部研究主任研修会  
 9月 9日（火） 第3回幹事会  
 9月30日（月） 第3回支部研究主任研修会  
 10月 7日（月） 第4回幹事会  
 10月21日（月） 第4回支部研究主任研修会  
 11月11日（月） 第2回全市研究主任研修会 ○講義：立命館大学 准教授 川那部 隆司  
 「中学校における探究学習の特徴と充実：「主体性」をどう捉えるか」
- 11月25日（月） 第5回支部研究主任研修会  
 1月 7日（火） 第5回幹事会  
 1月20日（月） 第6回支部研究主任研修会  
 2月 3日（月） 第3回全市研究主任研修会 ○実践報告 大淀中学校 教諭 杉山 郁苗  
 「大淀中学校の取組～資質能力を身に付ける授業へ」
- 2月10日（月） 第6回幹事会  
 2月17日（月） 第7回支部研究主任研修会

## 4. 成果と今後の課題

本部会は、「全市研究主任研修会」、「支部研究主任研修会」、「支部授業研修会」が大きな取組の柱となっており、それぞれが研究主任にとって大変重要な学びの機会となっている。全市研修会では、喫緊の課題である授業改善の進め方や探究的な学びについての研修を行い、研究主任としての資質向上を図った。支部研究主任研修会では具体的な各校の課題や取組、校内研究の進め方などについて共有し、よりよい研究体制づくりに向けて議論を交わした。また授業研修会では各教科に分かれての授業研修を、「子どもの見取り」を軸とした授業研究へとシフトチェンジし、子どもの変容を事後協議のテーマとして行った。各取組の課題としては、全市研修会では、講義や報告の後に協議の時間を設けているが、内容が多いゆえに協議の時間が短くなり、参加者が満足のいく協議になったのかが少々疑問に残るところである。また支部研究主任会では、研究主任同士の良い交流の場となっているのは間違いないが、各校の報告が会の中心となり、課題解決に向けて解を見出す場となり得たのかについてしっかりと検証していく必要性を感じる。また授業研修会では、体育を除く実技教科の授業者選出が年々難しくなっており、引き続き授業者の選び方を検討していく必要がある。以上のようにそれぞれの課題があるが、最も大切なのは各研究主任会が学ぶ雰囲気になった場となることである。そのような研究主任会を目指して取り組んでいきたいと考えている。



# 【環境教育部会】

事務局：桃山中学校内

## 【1】 組織・役員

会 長 井上 俊幸（桃山中）  
副会長 小山 正直（上京中） 辻 光裕（蜂ヶ岡中） 上田 裕（桂川中）  
幹事長 中井 誠太郎（高野中） 副幹事長 川北 雅美（松原中）  
会 計 和田 正裕（下京中）  
幹 事 田村 和久（松尾中） 八藤 由之（深草中） 池上 暁（凌風小中）  
石井 宏篤（下京中）  
参 与 小川 秀（総合教育C） 牧野 茂樹（大原小中） 河合 彩子（科学C）  
茶木 正（呉竹総合支援）

## 【2】 研究テーマ

### 「SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた環境教育の推進の在り方」

温暖化や自然破壊など地球環境の悪化が深刻化し、環境問題をはじめとする人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題の解決に向け、SDGs（持続可能な開発目標）の取組が地球規模で盛んに行われている。エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少なく持続可能な社会を構築することが大切である。そこで、次代の担い手である生徒がエネルギー・環境問題にすすんで関心を持ち、それらに関する理解・考察を深めるとともに技能を身につけ、SDGsの実現に向けて、適切に判断し行動できる資質や能力を養う指導の在り方を研究することとした。

#### 研究内容

環境課題を正しく理解し、「新エネルギー」「再生可能エネルギー」などを題材とした教材開発・および学習指導法の実践、研究を進める。また、ワークショップや研修等を通して、持続可能な社会の構築をめざし、エネルギー・環境問題の解決に向け、生涯を通じて主体的かつ適切に判断し行動できる生徒の育成に向けた指導力の向上を図る

## 【3】 活動の記録

6月26日 総会・第1回幹事会  
9月18日 第2回幹事会  
11月17日 京都府立植物園「樹木と文化」において  
『持続可能な社会づくりのための環境教育』をテーマにしたブースを出展  
2月 第3回幹事会・総会・研究交流会

## 【4】 今後の課題

- 役員、会員ともに組織体制の強化を図ること。
- 生徒が参加できる事業展開を推進すること。
- 研究会活動についての広報活動の活性化（HPの活用等）を図ること。

## 【生き方探究教育（キャリア教育）部会】

事務局：西賀茂中学校内

### （１）組織・役員

会長	上畑 直久（西賀茂中学校・校長）	
副会長	森下 治樹（加茂川中学校・校長）	三田村高秀（桂中学校・教頭）
	三間 英隆（洛北中学校・教頭）	今河 慶昭（久世中学校・教頭）
幹事長	上島 保隆（太秦中学校）	
副幹事長	吉岡 健志（双ヶ丘中学校）	
委員	上島 保隆（太秦中学校）	吉岡 健志（双ヶ丘中学校）
	佐藤 翼（音羽中学校）	藤本 裕之（下京中学校）
	奥園 祐子（四条中学校）	杉村 朗（安祥寺中学校）
	田中 淳一（下京中学校）	坂口 良人（向島秀蓮小中学校）
委員会	山田 敦（学校指導課）	乾 由紀（生き方探究館）
	岡本 清之（生き方探究館）	
顧問	初田 幸隆（生き方探究館）	

### （２）研究テーマ

「生き方探究教育の視点を生かした、授業づくり、学級・学年づくり、学校づくり」

～未来をよりよく生きるために生徒の可能性を見つけ、引き出し、伸ばすキャリア教育～  
活動の方針

- ① 生き方探究教育の理解を広げる
- ② 生き方探究教育推進のための実践的な研究を推進する
- ③ 他校種・他地域の「生き方探究・キャリア教育研究会」との連携を図る

### （３）活動の記録

6月26日	前期総会	総合教育センター
8月1日	生き方探究（キャリア）教育実践講座	生き方探究館
9月20日	事業研究部会	総合教育センター
11月22日	紫明小学校キャリア教育公開授業参加	紫明小学校
12月4日	事業研究部会	総合教育センター
1月28日	生き方探究教育マイスター公開授業（英語科）	四条中学校
2月21日	後期総会・文部科学省教科調査官長田徹氏講演会	総合教育センター

### （４）今後の課題

- 「キャリア教育の視点で教育活動を捉え直す」ことの意義や実践を追求する。
- 「キャリア・パスポート」の有効的な活用を研究する。
- 会員拡大に向けての取組を行う。

## 【中学校LD等支援教育研究部会】

通称：中L研

事務局：栗陵中学校

### [1] 組織・役員

[部会長] 石田裕之（栗陵中学校校長）

[副部会長] 菊地順維（梅津中学校校長） 長谷川亜美（桃陽総合支援学校校長）

山口達也（向島東中学校校長） 森茂昭（下京中学校校長） 野村一真（松原中学校校長）

[教育委員会] 大藪 晶（総合育成支援課指導主事）

[幹事長] 玉置宣子（伏見中学校）

[副幹事長] 千代優樹（北総合支援学校中央分校）

[庶務] 小山享子（衣笠中学校） 川村昌広（山科中学校） 佐々木有利（京都御池中学校）

[研究部]

◎通級指導部会：井本綾子（高野中学校） 山口広美（四条中学校） 高田夢津希（洛北中学校）

菊地浩美（桃陽総合支援学校） 西脇優美子（北総合支援学校）

◎UD・ICT教育部会：池上賢治（藤森中学校） 今濱丈博（洛南中学校） 平林文佳（久世中学校）

森川美希（京都京北小中学校）

◎個別の指導計画部会：堀野大輔（大宅中学校） 小山千栄美（大枝中学校） 鎌谷 遥（上京中学校）

[広報] 上田俊佑（北総合支援学校） 山口 翼（洛水中学校） 小林憂美子（西ノ京中学校）

### [2] 研究テーマ・活動目標

研究テーマ 「よりそい ～連携から協働へ～」

研究目標 『LD等支援教育の充実と発展を図る視点から、多様な教育的ニーズのある子どもたちを誰一人取り残さない支援の在り方について研究をすすめる』

取組み ①通級指導教室から通常学級につながる支援教育の推進 ②LD等支援教育におけるICT活用

③「中L研版個別の指導計画」の改善および活用

④授業UDおよびUDLの研究推進 ⑤専門機関や他府県における最新情報の入手・活用

### [3] 活動の記録 \*幹事会（毎月1回）

4月、5月 幹事会（総教C）組織編成、研究テーマの検討、研修・事業計画・会員募集名簿作成

6月12日 総会および視察報告「舞鶴市立城南中学校におけるUDの取り組み」山科中・川村昌広先生

8月 6日 夏季研修会

講演「ユニバーサルデザイン授業と教育の今日的課題」京都教育大学 相澤雅文教授

研究報告 「中L研版個別の指導計画について」 大宅中・堀野大輔先生

9月、1月 幹事勉強会「特総研での研修報告」北総合中央分校・千代優樹先生

2月 4日 冬季研修会 講演および事例検討

講演「通常学級における困りを抱えた生徒の見立てと支援」京都教育大学 鈴木英太先生

3月 各部会研究まとめ

### [4] 今後の課題

発足から4年目となった本年、年2回の研修会は充実した内容での開催となりました。さらに幹事勉強会にも取り組んできました。今後もさらに専門性の向上と教育現場への還元のために、各研究部会での研究を進めてまいります。

## 第40回京都市中学校総合文化祭の開催について

「京都市中学校総合文化祭」は、市内の中学生が様々な部門において、日頃の文化活動の成果を発表することにより、相互の研鑽と交流を深め、学校における文化活動の充実や新たな芸術・文化の創造、心豊かな人間性の育成などを図る目的で、例年開催しています。

### 記

<京都市中学校総合文化祭の概要>

1. 日 時 10月26日(土)～11月17日(日)

※日時や内容、会場については各部会により異なりますので、別添の資料を御参照ください。



2. 会場等 京都市総合教育センター、京都市青少年科学センター、堀川御池ギャラリー、京都市立京都堀川音楽高等学校、立命館大学以学館ホール、右京中央図書館、醍醐中央図書館
3. 参加者 京都市立中・小中・総合支援学校の生徒・保護者  
国立・私立中学校及び民族学校の生徒・保護者など 約3,000人(見込)
4. 主催 京都市立中学校教育研究会、京都市立中学校長会、京都市教育委員会
5. その他 入場無料(申込不要)
6. 問合せ先 京都市教育委員会事務局指導部学校指導課  
中学校教育担当 TEL:075-222-3808

(別紙)

## 第40回 京都市中学校総合文化祭 実施日時・会場

名称	期日	時間	会場
生徒理科研究発表会	10月26日(土)	午後1時～午後5時	京都市青少年科学センター 映写講義室 〒612-0031 伏見区深草池ノ内町13 TEL:642-1601 FAX:642-1605
美術展	11月2日(土) 11月3日(日)	午前11時～午後4時	堀川御池ギャラリー 〒604-0052 中京区油小路通御池押油小路町238-1 TEL:255-9023 FAX:255-9023
新聞展	11月2日(土) 11月3日(日)	午前10時～午後3時	京都市総合教育センター 1階 アクティブラーニングエリア 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
生徒社会科作品展示			
技術・家庭科生徒作品展	11月2日(土) 11月3日(日)	午前10時～午後3時	京都市総合教育センター 第3研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
朗読コンクール	11月2日(土)	午後1時30分～午後4時	京都市総合教育センター 第1研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
弁論大会	11月3日(日)	午後1時～午後4時	京都市総合教育センター 永松記念ホール 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
ビブリオバトル※	11月2日(土) 11月4日(月・祝)	11月2日:午前10時30分～ 11月4日:午前11時～	11月2日:右京中央図書館 〒616-8104 右京区太秦下刑部町12 TEL:871-5336 FAX:871-5341 11月4日:醍醐中央図書館 〒601-1375 伏見区醍醐高畑町30-1 TEL:575-2584 FAX:575-2587
生徒音楽会	11月2日(土)	開場 開演 午前の部 10:15 10:30 午後の部 13:15 13:30	京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール 〒604-0052 中京区油小路通御池押油小路町238-1 TEL:253-1581 FAX:213-3631
吹奏楽演奏発表会	11月3日(日)	開場 開演 午前の部 10:15 10:30 午後の部 13:15 13:30	
演劇合同発表会	11月16日(土) 11月17日(日)	開場 開演 11月16日(土) 13:20 13:40 11月17日(日) 10:50 11:00	立命館大学 以学館ホール 〒603-8577 北区等持院北町56-1 TEL:465-8144
英語学習発表会	11月3日(日)	午前10時～午前11時20分	京都市総合教育センター 永松記念ホール 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
子ども体験教室 (プログラミングでドローンを動かそう)	11月2日(土)	午前9時～午前11時	京都市総合教育センター 第1研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441

※例年、京都市図書館と京都市立中学校教育研究会図書館教育部会がそれぞれで行っていたビブリオバトルが今年度は、京都市図書館、京都市立中学校教育研究会図書館教育部会、京都市教育委員会主催の「京都市図書館ビブリオバトル・京都市中学校ビブリオバトル大会」として上記のとおり開催されます。

